

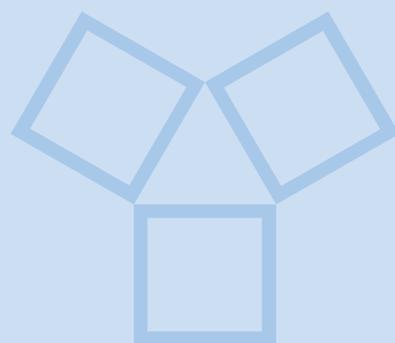
2024

令和6年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2024 – March 2025



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

2024

令和6年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report
April 2024 – March 2025

序

大規模改修工事のため、令和2(2020)年度末より休館していた横浜美術館は、令和6(2024)年3月15日、第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」(ー6月9日)でリニューアルオープンしました。閉幕後、諸準備のため再び約8カ月の休館期間をいただきながら、11月より、ギャラリー8、9、子どものアトリエ、市民のアトリエ、美術図書室、ミュージアムショップ「MYNATE」、カフェ「馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室」を先行オープンさせました。明けて令和7(2025)年2月8日、「おかえり、ヨコハマ」展およびコレクション展(ー6月2日)をもって、美術館はいよいよ全館オープンを迎えました。

こうして令和6年度は、足掛け4年にわたる長い休館が完全に終わり、すべての事業を再開した、わたしたちにとって忘れがたい年となりました。館の建物は、建築家、丹下健三の意志を最大限に尊重しながら、TANGE建築都市設計の手により、新しい時代にふさわしいものへとアップデートされました。

以下に特筆すべき事項をあげます。

一つ目は、やはり第8回横浜トリエンナーレの開催です。特に、教育普及グループが手がけた「こどものアートひろば『はらっぱ』」は、常に親子連れでにぎわう無料スポットとして好評を博しました。

二つ目は、11月の部分オープンです。新設の無料展示室、ギャラリー8、9には、11月1日ー3日の最初の3日間で、3,768名のお客さまが訪れました。また、同じ3日間に、子どものアトリエ、市民のアトリエでは、開館以来初の「活動再会だよ!ぐるりアトリエ見学会」を実施し、計218名の参加を得ました。これらの成果は、全館再始動が市民のみなさまに待ちのぞまれていることを、わたしたちに強く実感させました。

三つ目は、「おかえり、ヨコハマ」展の開催です。新たな出発にあたって、横浜という街に正面から向き合うべく、当館および市内諸機関のコレクションを十全に活かして、縄文時代から今日にいたる横浜の新しい歴史を描き出しました。

四つ目は、「おかえり、ヨコハマ」展開幕にあわせた、建築家、乾久美子およびグラフィック・デザイナー、菊地敦己による新たな家具什器、サイネージのお披露目です。建物の石材から抽出した11色を用いた椅子やテーブル、棚や看板類は、グランドギャラリーを中心とした「じゆうエリア」を、誰もが思い思いにくつろげる場所へと変化させました。

新たな船出に対する全職員の思いが詰まった令和6年度の活動の記録を、ここにお届けします。

蔵屋美香
横浜美術館館長

目次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 基本方針・沿革 | 7 |
| 展覧会事業 | |
| 概要 | 9 |
| 企画展1 第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」 | 10 |
| 企画展2 横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」 | 12 |
| 横浜美術館 新収蔵作品特別展示 浅井裕介《八百万の森へ》 | 14 |
| コレクション展(じゆうエリア) | 16 |
| コレクション展 2025年2月8日(土)－6月2日(月) | 18 |
| オンライン作品 SIDE CORE×横浜美術館「KAIROS／カイロス」 | 20 |
| 調査研究・普及活動(個人) | 22 |
| 美術図書室の活動 | 25 |
| 教育普及事業 | |
| 概要 | 27 |
| 展覧会関連事業 | 30 |
| 子どものアトリエ | 33 |
| 市民のアトリエ | 34 |
| 市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業 | 35 |
| 美術品の収集、保存・修復、貸出 | |
| 収集 | 37 |
| 保存・修復 | 38 |
| 貸出 | 39 |
| 広報の活動、外部と連携した事業 | |
| 広報 | 41 |
| 外部と連携した事業 | 43 |
| 来館者へのおもてなし | 45 |
| 国際的な交流・発信 | 47 |
| リニューアルオープン記念事業 | 50 |
| 資料 | |
| 入館者数・収支 | 52 |
| 役員等・組織図 | 53 |
| 職員名簿 | 54 |
| 条例・施行規則 | 55 |
| 施設概要・利用案内 | 60 |

基本方針・沿革

基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、横浜美術館の運営を担っています。横浜市の施策と、今日社会において美術館が果たすべき役割を踏まえ、「みなとモデル」を指針として掲げ、指定期間（令和5年4月1日から令和15年3月31日）を通じて事業目標および指標の達成を目指します。

「みなとモデル」の3つの柱

- (1)「多様性」：さまざまな人や情報が行きかう場、互いを認め合う場となる
- (2)「持続可能な活動」：コレクションや人材など美術館を支える基盤を整備し、持続可能かつ質の高い活動を行う
- (3)「健全な経営」：健全な経営意識を持ち、安定した運営を行う

事業目標

- ・魅力的なコレクションを形成、活用するとともに、未来へ継承する
- ・質の高い多様な展覧会実施を通じて新たな美術の価値を創造し、来館者の裾野を拡げる
- ・美術と人々をさまざまな糸口でつなぎ、生きる力を培う
- ・諸活動の基盤を整備し、社会情勢の変化に対応できる施設運営を行う
- ・横浜市中核的な文化拠点として、地域のさまざまな施設や団体と連携し、地域社会のポテンシャルの向上に貢献する
- ・大規模改修による長期休館を活かし、横浜美術館のプレゼンスの向上を図る 等

沿革

| | |
|----------|--|
| 昭和62年10月 | 運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立 |
| 昭和63年3月 | 建物竣工 |
| 9月 | 横浜美術館条例制定 |
| 平成元年2月 | 外構工事完了 |
| 3月25日 | 美術館開設（横浜博覧会施設として） |
| 11月3日 | 横浜美術館条例施行・開館 |
| 平成14年4月 | 運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。 |
| 平成18年4月 | 管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる（2年間）。 |
| 平成20年4月 | 横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる（5年間）。 |
| 平成21年7月 | 財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。 |
| 平成25年4月 | 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる（10年間）。 |
| 令和3年3月 | 大規模改修工事のため全館休館 |
| 7月 | PLOT48に仮事務所を開設 |
| 令和5年4月 | 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる（10年間）。 |
| 12月 | 大規模改修工事竣工 |
| 令和6年 | |
| 3月15日 | 第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」をもってリニューアルオープン |
| 令和7年 | |
| 2月8日 | 横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」で全館始動 |

展覧会事業

概要

展覧会は美術館で実施されるさまざまな活動のなかでも、中心的な事業です。横浜美術館では、現在、おおむね次の4種類の展覧会を実施しています。

一つ目は、企画展と呼ばれる展覧会です。内外の美術館やコレクターなどから、一定のテーマに基づいて作品や資料を借用し展覧会を構成します。二つ目は、コレクション展です。美術館が収集してきた美術品や資料をご覧いただく展覧会です。三つ目は、今後の活躍が期待されるアーティストが、館内のさまざまな場所を使って意欲的な作品を発表する展覧会です(令和6年度は実施なし)。そして四つ目として、平成23年度から横浜トリエンナーレを企画展事業の一つとして位置づけています。

企画展

横浜美術館は次のような基本方針により、年間3~4本、バラエティに富んだ内容で企画展を実施しています。平成元年の開館以来、これまでに134本の企画展が開催されました。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

コレクション展

当館では、2~4部屋の展示室を使って、年間1~2回の展示替えを行い、コレクションを紹介しています。約15,000点のコレクションの中から、100~200点の作品を厳選して展示します。毎回テーマを設定することで、さまざまな角度からコレクションの魅力にアプローチをしています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示する会期もあれば、全体を統一したテーマで構成し、分野を横断した展示を行うこともあります。

横浜トリエンナーレ

横浜トリエンナーレは、横浜市で3年に1度開催する現代アートの国際展です。国際的に活躍するアーティストの作品を展示するほか、新進のアーティストも広く紹介し、世界最新の現代アートの動向を提示しています。2001年に第1回展を開催して以来回を重ね、世界の情勢が目まぐるしく変化する時代のなかで、世界と日本、社会と個人の間を見つめ、アートの社会的な存在意義をより多角的な視点で問い直してきました。第1回(2001年)から第3回(2008年)までは独立行政法人国際交流基金が主催団体の一つとして事務局を担い、現代アートを通じて日本と各国との文化交流を促すことを目的に事業を実施してきました。第4回(2011年)以降、運営の主体を横浜市に移した後も、文化庁の支援を受けたナショナルプロジェクトとして、そして文化芸術創造都市・横浜を象徴するプロジェクトとして開催を重ね、横浜美術館をメイン会場の一つとして、多数の来場者を迎えています。



企画展1 第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」

第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」は、北京を拠点に国際的に活躍するリウ・ティン（劉鼎）とキャロル・インホワ・ルー（盧迎華）をアーティストック・ディレクターに迎えて開催されました。横浜美術館を中心に、公共空間を含む計5会場で、31の国と地域の作家93組の作品を展示しました。本展は、中国の小説家・魯迅が約100年前にあらわした散文詩集『野草』（1927年刊行）を出発点に構想され、新型コロナ禍以降、戦争や気候変動、経済格差や不寛容などの課題を抱える世界を生き抜く方法を、魯迅の時代から現代までの作家の作品を通して見出す内容となりました。日本初出展の作家は31組を数え、新作を発表した作家も20組となり、横浜でしか出会えない多様な表現が一堂に会しました。

今回より、創造都市界限拠点および近隣施設との連携方法を見直し、「野草」という共通のテーマのもと「アートもりもり!」事業を展開。横浜トリエンナーレ会期中の近隣のアートイベントが一つの事業としてまちにひろがることを目指し展開しました。

また、企画段階より横浜美術館の教育普及グループと協働し、未就学児から高校生までを対象とするプログラムや学校配布用の鑑賞ガイドの制作など当館ならではの取り組みも実現しました。

本展は、当初より横浜美術館のリニューアルオープン事業として計画されていましたが、改修工事の遅れに伴い、開幕が令和5年12月から令和6年3月へと変更されました。現場は会期変更に伴う課題も生じましたが、展示やオープニング出席のため約30組の海外作家が来日するなか、無事開幕しました。



ポスター



チラシ



カタログ

写真:

- 1 第8回横浜トリエンナーレ「いま、ここで生きてる」(グランドギャラリー) 展示風景
- 2 ブリックリー・ペーパー(チェン・イーフェイ&オウ・フェイホン)/刺紙(陳逸飛&歐飛鴻)《揺れ動く草の群れ》2024
- 3 你哥影視社(コア・ブラザーズ・フィルム・メイキング・グループ)(スー・ユエシエン/蘇育賢、リャオ・シウファイ/廖修慧、ティエン・ソユエン/田偉源)《宿舍》2023/2024
- 4 SIDE CORE《big letters, small things》2024
- 5 第8回横浜トリエンナーレ「わたしの解放」(ギャラリー5/富山妙子) 展示風景

撮影:1-3,5 富田了平/4 山本真人
写真提供:横浜トリエンナーレ組織委員会

広報印刷物デザイン:
REFLECTA, Inc.(岡崎真理子+田岡美紗子)

- 主催:** 横浜市、(公財) 横浜市芸術文化振興財団、NHK 朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会
- 連携拠点:** BankART1929、黄金町エリアマネジメントセンター 象の鼻テラス、急な坂スタジオ
- 支援:** 文化庁(国際的なイベントにおけるアートの国際発信事業)
- 特別協力:** 独立行政法人国際交流基金
- 後援:** 外務省、神奈川県、神奈川県新聞社、tvk(テレビ神奈川)
- 助成:** オフィス・フォー・コンテンポラリー・アート・ノルウェー*
ブリティッシュ・カウンシル、オランダ王国大使館*
アーニッシュ・アーツ・ファウンデーション
ゲーテ・インスティトゥート東京
フランダース・ステート・オブ・ジ・アート*
在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ
*アーティスト支援も対象

アーティスト支援:

オーストリア文化フォーラム東京
オーストリア文化芸術省
ワロニー・ブリュッセル・インターナショナル

- 協賛:** 日産自動車株式会社、株式会社野村総合研究所
NTT東日本、三井不動産グループ、三菱地所グループ
株式会社JVCケンウッド、スターツグループ
株式会社高島屋 横浜店、ぴあ株式会社、株式会社横浜銀行
上野トランステック株式会社、川本工業株式会社
株式会社キタムラ、株式会社崎陽軒、クイーンズスクエア横浜
株式会社サカタのタネ、横浜信用金庫
株式会社ルミネ ニュウマン横浜

- 協力:** 京浜急行電鉄株式会社
株式会社ジェイコム湘南・神奈川 横浜テレビ局
住友不動産株式会社、相鉄グループ、株式会社大和地所
株式会社ドコモ・バイクシェア、Peatix Japan 株式会社
東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社
みなとみらい東急スクエア、横浜アイランドタワー
横浜高速鉄道株式会社、横浜マリンタワー

作品協力: 長勝寺(鎌倉)、日本ペイント株式会社、サラヤ株式会社

会場: 横浜美術館、旧第一銀行横浜支店、BankART KAIKO
クイーンズスクエア横浜、元町・中華街駅連絡通路

会期: 令和6年3月15日(金)-6月9日(日)

開催日数: 63日(令和6年4月1日(火)から6月9日(日)まで)

観覧料: 一般2,300円、横浜市民2,100円、学生(19歳以上)1,200円
同時期に開催された連携拠点とのセット券
一般3,300円、横浜市民3,100円、学生(19歳以上)2,000円
フリーパス(すべての会場に何度でも入場可)
一般5,300円、横浜市民5,100円、学生(19歳以上)3,000円
18歳以下または高校生以下は無料

入場者数: 150,533人(令和6年3月15日(金)から6月9日(日)まで)
有料3会場延べ数

出品作品数: 588件

出展作家: 31の国と地域より93組(うち日本初出展31組、新作出展20組)

担当: 帆足亜紀、片多祐子、大澤紗蓉子、長谷川珠緒
里見有祐、飯阪直子

カタログ: 日英別刷 日本語版320頁、英語版320頁

発行: 横浜トリエンナーレ組織委員会

制作: くま書店

編集: 編集室こざとへん(阿部謙一+隈千夏)

刊行: 令和6年9月30日



企画展2 横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」

全館オープンを記念して、「横浜」に向きあう企画を実施しました。当館コレクションを活用すると共に、横浜市歴史博物館をはじめとする市内各所の協力を仰ぎ、横浜の知恵を縦横につなぐことを試みました。テーマは「多様性」。開港前に生きた人びと、女性、子ども、さまざまなルーツを持つ人びとなどに光を当て、新しい横浜の姿を描き出しました。特に子どもについては、学芸グループと教育普及グループが協働し、「子どもの目でみるコーナー」を設けました。「特別展示」では、乾久美子、菊地敦己による新たな家具什器やサイン類を紹介。また、グランドギャラリーの大階段では、檜皮一彦による、車椅子ユーザーの視点を活かした新作を公開しました。

展覧会の構成

- 第1章 みなとが、ひらく前
- 第2章 みなとを、ひらけ
- 第3章 ひらけた、みなと
- 第4章 こわれた、みなと
- 第5章 また、こわれたみなと
- 第6章 あぶない、みなと
- 第7章 美術館が、ひらく
- 第8章 いよいよ、みなとがひらく
- 特別展示 ピンクの正体

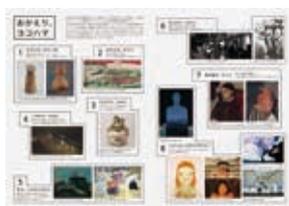
- 主催**：横浜美術館、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)
- 特別協力**：横浜市歴史博物館、神奈川県立歴史博物館
- 協力**：みなとみらい線、国立映画アーカイブ、株式会社イルカ株式会社ルーヴィス
- 会期**：令和7年2月8日(土)～6月2日(月)
- 開催日数**：45日(令和7年3月31日(月)まで)
- 観覧料**：一般1,800円、大学生1,500円、中学・高校生900円
小学生以下無料
- 入場者数**：32,203人(令和7年3月31日(月)まで)
- 出品作品数**：221件
- 出展作家**：73人、1団体
- 担当**：蔵屋美香、内山淳子、大塚真弓、南島 興、岡崎智美
- カタログ**：288頁
- 発行：torch press
- 編集：網野奈央、三浦真紀(torch press)
- 会場構成**：乾久美子建築設計事務所、菊地敦己事務所



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン：菊地敦己
カタログデザイン：菊地敦己、秋元桜、北原美菜子

撮影：加藤 健



横浜美術館 新収蔵作品特別展示 浅井裕介《八百万の森へ》

パシフィコ横浜で開催された国際アートフェア「Tokyo Gendai」の開催日に合わせ、アーティスト、浅井裕介の新作《八百万の森へ》の3日間限定特別展示(観覧無料)を開催しました。

この作品は、横浜信用金庫が創立100周年記念事業として、2023年に横浜市文化基金に寄附を行ったことをきっかけに収蔵されたものです。制作は、横浜の各地で集めた土を、ボランティアの手でふるいにかけて「絵の具」にする作業から始まりました。その後、横浜信用金庫の鶴ヶ峰支店、本店営業部、市場支店、そしてBankART Station(2025年3月活動終了)で、多くの市民に見守られ、また、さまざまな人々の協力を得て描き上げられました。文字どおり、「横浜生まれ」の作品です。

土のざらざらした風合いを残しつつ、土とは思えない豊かな色彩で覆われた画面。浅井のトレードマークともいえる鹿やへび、そのほか多様な動物、植物、人が、そこに生息しています。しかも、大小9枚のパネルを組み替えることで、さまざまな「森」が姿を見せます。

描かれたイメージ、その構成の仕方、完成までの道のり、いずれにおいても「多様な人／もの同士のつながり」を象徴する作品です。この作品を通して多くの人や場所との交流が生まれました。

主催: 横浜市、横浜美術館
会場: ギャラリー5
会期: 令和6年7月5日(金) - 7月7日(日)
開催日数: 3日
観覧料: 無料
入場者数: 2,013人
出品作品数: 1件、構想画および画材等資料1式
出展作家: 1人
担当: 松永真太郎、大澤紗蓉子



コレクション展(じゆうエリア)

リニューアルオープン後の横浜美術館がめざす「5つの願い」の筆頭「誰もが尊重され、自分らしくいられる場でありますように」を空間として体現しているのが、館内に散在する「じゆうエリア」です。この入場無料のスペースで、ゆったり・のびのびと作品鑑賞も楽しんでもらえるよう、そこかしこに収蔵品を展示しました。

2024年11月からの部分開館においては、ギャラリー8とギャラリー9で小展覧会を開催。ギャラリー8では「ひっくり返す／ひっくり返る」と題し、上下左右を入れ替えたり、極大のものを極小に描いたりすることで、私たちの凝り固まった価値観にゆさぶりをかける現代アートを紹介しました。作品に触れて世界の新しい見え方を獲得する、そんな美術館体験の原点ともいえる驚きや喜びをあらためて感じてもらう企画コンセプトです。ガラス張りの新設展示室ギャラリー9では、自然光が射しこむ空間の開放性を生かして「ガラスとひかり」を特集。季節や時間のうつろいととも、色彩や透明感を変じていくガラス彫刻の特質と魅力を堪能できる展示を目指しました。

2025年2月の全館始動時には、グランドギャラリーの階段スペースと3階の回廊の一部をコレクション展のスペースとして追加。前者では丹下健三の建築意匠を引いて、「まる」と「シカク」をライトモチーフに大型彫刻を配置し、休憩コーナーでくつろぐ人びとがゆるやかに作品に触れられる場となるよう構成しました。隣接する3階回廊には宮川香山をはじめとする精緻な輸出陶磁器を並べ、開港期の横浜の歴史をふり返るとともに、「金彩と釉薬のかがやき」をテーマに掲げて、グランドギャラリーのマッシブな彫刻群とは対照的な、細部をのぞき込む鑑賞の愉しみへと誘いました。

また、各コーナーの出品作家や主題に通奏低音のような重なりを仕込み、じゆうエリア全体に連動性をもたせることで、来館者が展示からさまざまな物語を紡ぎ出せる工夫としました。

- 会場:** ギャラリー8、ギャラリー9、グランドギャラリー、3階回廊
- 会期:** [ギャラリー8] 令和6年11月1日(金) - 令和7年6月2日(月)
[ギャラリー9] 令和6年11月1日(金) - 令和7年11月18日(火)
[グランドギャラリー、3階回廊]
令和7年2月8日(土) - 11月3日(月・祝)
- 開催日数:** [ギャラリー8、ギャラリー9] 125日
(令和7年3月31日(月)まで)
[グランドギャラリー、3階回廊] 45日
(令和7年3月31日(月)まで)
- 観覧料:** 無料
- 入場者数:** [ギャラリー8] 26,212人(令和7年3月31日(月)まで)
[ギャラリー9] 23,173人(令和7年3月31日(月)まで)
[グランドギャラリー、3階回廊] 計数せず
- 出品作品数:** [ギャラリー8] 30件
[ギャラリー9] 11件
[グランドギャラリー] 8件
[3階回廊] 11件(うち1件は有料コレクション展関連の彫刻作品)
- 出展作家:** [ギャラリー8] 13作家
[ギャラリー9] 11作家
[グランドギャラリー] 7作家
[3階回廊] 7作家(うち1作家は有料コレクション展関連の彫刻家)
- 担当:** 坂本恭子、日比野民蓉



コレクション展 2025年2月8日(土)－6月2日(月)

新収蔵作品特別展示 ― 浅井裕介《八百万の森へ》／新たにむかえた作品たち―生活・手仕事・身体

コレクション展では、二つのテーマに基づき、休館中に収蔵した作品を紹介しました。

一つ目は、横浜にゆかりのあるアーティスト、浅井裕介による新作《八百万の森へ》です。この作品は、横浜信用金庫が創立100周年記念事業として、2023年に横浜市文化基金に寄附を行ったことをきっかけに収蔵されました。

浅井は、土や水、マスキングテープやペンなどの生活に身近な素材を使い、動物や植物、山川や草木に宿る精霊のような存在を描くアーティストです。また、日本および世界各地で採集した土を絵具にし、それを使って各地の人と協働制作をすることでも知られています。

本作では、横浜信用金庫の各支店・拠点やボランティアによって集められた横浜市内の土が使われており、制作も横浜信用金庫の三つの店舗（鶴ヶ峰支店、本店営業部、市場支店）およびBankART Station(2025年3月活動終了)など、横浜市内で行われました。サイズの異なる9枚のパネルを組み合わせることで生まれる、高さ約3メートルの大作を7月の特別展示（参照 pp.14-15）とは別のパターンで展示しました。

二つ目は、1980年以降の現代アートです。横浜美術館は、主に19世紀から現在にいたる美術作品を所蔵しています。現代アートの収集にあたっては、既にあるコレクションとの関係を考慮し、当館ならではの視点で「今という時代」を語ることで作品を重視しています。

今回は、こうした観点から休館中に収蔵された、1980年代と2010年代の作品を中心に紹介しました。1980年代、日本では好景気を背景に現代アートの多様化が進みます。この時代に登場したのが、身の周りの出来事や身体をテーマに制作をする女性アーティスト、手仕事の創作やジェンダー(性差)の問題に取り組む男性アーティストでした。

ジェンダーに対する問いかけや環境問題などを取りあげる2010年代の作品とともに、現在にも繋がるテーマが提示された1980年代の現代アートを紹介しました。

会場: ギャラリー5、ギャラリー6

会期: 令和7年2月8日(土)～6月2日(月)

開催日数: 45日(令和7年3月31日(月)まで)

入場者数: 35,169人(令和7年3月31日(月)まで)

出品作品数: 31件、映像資料1件、美術図書室資料11件

出展作家: 14人

担当: 大澤紗蓉子、長谷川珠緒、飯岡 陸



オンライン作品

横浜美術館リニューアルオープン記念 SIDE CORE × 横浜美術館「KAIROS／カイロス」

横浜美術館では大規模改修という大きな節目を記憶にとどめるため、アーティスト・コレクティブSIDE COREとともに、2021年から25年にわたり改修されてゆく建築を360度カメラによって撮影しました。そして美術館が全館オープンした2025年2月8日に、その記録を映像作品としてオンライン公開しました。

ギリシャ語で「時」を意味する「KAIROS(カイロス)」と題されたこの映像には、改修前後の内部空間や、美術館の引越しの様子など、工事囲いに閉ざされ、眠る美術館の舞台裏が記録されました。SIDE COREは、覆い隠される建物の中に、多国籍なアーティスト集団TOKYO ZOMBIEやミュージシャンのコムアイ、アーティストの森山泰地、菊地良太らを招き入れました。数か年にまたがり変わりゆく建築とたわむれ、そこへの介入をこころみる彼らは、改修の経過に伴いそれぞれのライフステージでも変化を経験しました。

動画は2部構成とされ、1部では横浜の風景がランダムで再生されるとともに、作家ステートメントが掲示され、クリックすることで2部へと飛ぶ仕掛けとされました。そして2部では、改修後の美術館から改修前へと時間がさかのぼり、出演者たちが休館中に流れた時の移ろいを知らせる導き手として登場しました。SIDE COREにとって初の360度動画による作品である本作は、アーティストならではの新鮮な視点で美術館の変貌を伝えるものとして、オンライン上での鑑賞体験をもたらしました。

主催：横浜美術館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

監督・演出：SIDE CORE

出演：EVERYDAY HOLIDAY SQUAD
菊地良太
コムアイ
TOKYO ZOMBIE
森山泰地

撮影・編集：SIDE CORE
ACTUAL Inc.

音楽：TOKYO ZOMBIE “RUNAWAY”

システム構築：HAUS (monosus, inc.)

システム提供：WHERENESS by ACTUAL Inc.

公開期間：令和7年2月8日(土) - 令和8年3月31日(火)

公開場所：オンライン特設サイト(<https://sidecore-kairos.space/>)

観覧料：無料

出品作品数：1件

出展作家：SIDE CORE

担当：大澤紗蓉子、片多祐子

調査研究・普及活動（個人）

紀要

横浜美術館研究紀要

第26号, 2025年

81頁

発行日: 令和7年3月31日(月)

発行部数: 470部

掲載論文:

- ・帆足亜紀／横浜トリエンナーレと横浜美術館の間に補助線を引く—横浜美術館で横浜トリエンナーレを開催するようになった経緯とその後
- ・中村尚明／大谷研究室旧蔵「こどもの国児童館・A地区児童遊園」資料群に見るイサム・ノグチと大谷幸夫による設計過程—中 原案の変更と未完に終わった三位一体のランドスケープ・デザイン



普及活動（個人）

◎執筆・寄稿

蔵屋美香

- ・「オヤジとおふくろ」欄、『文藝春秋』2024年4月号(3月8日発行)
- ・『『国別対抗』展が問う国という枠組み: ヴェネチア・ビエンナーレ2024』『読売新聞』2024年6月4日(火)
- ・「意外!? 夢二は女性を搾取していない—画家とモデルと大正時代」藤原えりみ, 『芸術新潮』2024年7月号(6月25日(火) 発行)
- ・「キテレツ絵画の逆襲: 日本近代洋画を見つめなおす 第2回: 黒田清輝の功罪」『同 第7回: 日本に裸体画は必要か』森村泰昌, 三浦篤, 『芸術新潮』2024年9月号(8月23日(金) 発行) および2025年3月号(2月25日(火) 発行)
- ・「なぞかけマグリットさん」『シュルレアリスム100年映画祭』株式会社トレノバ, 2024年10月15日(火) 発行
- ・「美の十選(1)~(10)ときめき謎めき美術館」『日本経済新聞』2024年11月15日(金)-12月1日(日)
- ・「荒川ナツシユ医 インタビュー。ディアスポラ、クエア、美術館制度……国立新美術館での個展を語る」(聞き手・文, 荒川ナツシユ医, TOKYO ART BEAT, 2024年11月26日(火) 公開)

柏木智雄

- ・『神奈川大学評論』への寄稿, 『神奈川大学評論』編集専門委員会, 『神奈川大学評論』第106号「美術時評」2024年8月
- ・BankART Under35 泉桐子カタログ, NPO法人BankART1929, 2024年8月

日比野民蓉

- ・エッセイ「平凡な日の中の私」, BANDAL社『メモリアル・シャワー・プロジェクト』記録集, BANDAL Corp., 2025年度刊行予定

八柳サエ

- ・『第33回奨学生美術展』への寄稿, 佐藤国際文化育英財団, 2024年9月10日(火)-10月20日(日)

飯岡 陸

- ・ティモ・ハーブスト「Ephemera」展覧会レビュー, KEN NAKAHASHI, 2024年5月
- ・寄稿「都市を静かに剥く—第7回昌原彫刻ビエンナーレ2024[silent apple]」『artscape』, 株式会社メディア・デザイン研究所, 2024年10月

- ・澤田華「ビューのビュールーム」会場テキスト, 山山 | yamayama, 2024年11月

南島 興

- ・渡邊涼太「Reflection (Times)」展の展示批評文, SOM GALLERY, 2024年8月19日(月)
- ・『妄想講義「自分」からはじめる未来のつくり方』への寄稿, 株式会社金風舎, 2024年9月30日(月)
- ・artscapeの新企画「ミュージアム外のインターネットラジオ」, 株式会社メディア・デザイン研究所, 不定期

◎発表・講演会・シンポジウム

蔵屋美香

- ・講演「横浜美術館のこれまでとこれから」公益財団法人横浜中法人会, ローズホテル, 6月20日(木)
- ・コメンテーター「認知科学会オーガナイズドセッション」, 東京大学, 10月14日(月祝)
- ・トークイベント「なぞかけマグリットさん」『シュルレアリスム100年映画祭』, ユーロスペース, 10月19日(土)
- ・対談「SIDE CORE展 コンクリート・プラネット」, SIDECORE, ワタリウム美術館, 11月8日(金)
- ・対談「牧寿次郎チラシ蔵屋美香キュレーション」, 牧寿次郎, 後藤哲也, clinic, 11月10日(日)
- ・対談「ケネス・ノーランド: Paintings 1966-2006」展「サム・ギリアム: The Flow of Color」展, 加治屋健司, Pace Gallery, 3月7日(金)

柏木智雄

- ・原三溪顕彰講座 講演会, 原三溪・柳津文化の里構想実行委員会, 11月9日(土)

帆足亜紀

- ・アートウィーク東京2024ラウンドテーブル, 一般社団法人コンテンツラリーアートプラットフォーム/慶應義塾大学アートセンター/慶應義塾ミュージアム・commons, 11月7日(木)

飯岡 陸

- ・トークイベント「祈り、芸術、量子空間」, 令和6年度文化庁メディア芸術クリエイター育成支援事業成果発表展, 2月16日(日)

南島 興

- ・トークイベント, 合同会社サバービアラボ, 4月27日(土)・6月2日(日)
- ・渡邊涼太「Reflection (Times)」展, SOM GALLERY, 8月25日(日)

襟川文恵

- ・とみおか未来会議 フォローアップ研修会, 一般社団法人構想日本, 1月18日(土)
- ・つやま未来デザイン会議, 一般社団法人構想日本, 3月16日(日)
- ・聴竹居倶楽部主催 第5回シンポジウム, 一般社団法人聴竹居倶楽部, 3月29日(土)

◎非常勤講師等**蔵屋美香**

- ・多摩美術大学客員教授, 前期1回, 後期1回
- ・千葉大学非常勤講師, 後期1回

柏木智雄

- ・慶應義塾大学文学部非常勤講師, 「博物館経営論」, 後期

帆足亜紀

- ・神奈川大学外国語学部非常勤講師, 「総合講座・中国と世界」, 前期2限4講座

内山淳子

- ・鎌倉女子大学, 「建学の精神実践講座」講師, 12月11日(水)・12日(木)・16日(月)

片多祐子

- ・京大芸術大学非常勤講師, 5月-3月, 博物館学芸員課程「博物館資料論」(添削)／博物館実習Ⅰ「博物館情報・メディア論」(講義) 5月25日(土), 6月8日(土), 2月15日(土)／博物館実習Ⅲ「学外実習」11月29日(金), 1月31日(金)

坂本恭子

- ・共立女子大学非常勤講師, 「博物館学概論」, 後期
- ・横浜国立大学, 「アート・マネジメント」ゲスト講義, 11月11日(月)

日比野民蓉

- ・静岡大学講師, 「アート・デザインコミュニケーション」ゲスト講義, 6月26日(水)
- ・静岡大学非常勤講師, 「アートマネジメント特論・集中講義」, 9月13日(金)-16日(月), 19日(木)-22日(日)
- ・東洋英和女学院大学非常勤講師, 「芸術学B」ゲスト講義, 7月15日(月)
- ・慶應義塾大学文学部非常勤講師, 「美術史特殊ⅡE」, 後期

八柳サエ

- ・法政大学 市ヶ谷リベラルアーツ 講師, 「芸術」の講義における「美術館の役割」, 12月12日(木)

木下貴博

- ・横浜美術大学非常勤講師, 彫刻表現Ⅰ／彫刻表現Ⅱ／彫刻基礎Ⅰ, 4月1日(月)-9月15日(日), 全92時間46コマ

襟川文恵

- ・富士通コミュニケーションサービス株式会社 社員研修講師, 12月20日(金)
- ・株式会社横浜国際平和会議場(パシフィコ横浜) 令和6年度 MICE 連絡会講師, 3月12日(水)

飯岡 陸

- ・横浜国立大学大学院都市イノベーション学府ゲスト講師, スタジオ授業, 12月10日(火)・17日(火)
- ・講評「広島市立大学芸術学部 卒業・修了制作展 現代表現領域」, 2月11日(火)

南島 興

- ・神保町オルタナティブスクール PARA, 「芸術批評を書く」講師(オンライン添削・講評), 4月1日(月)-1月31日(金)
- ・神保町オルタナティブスクール PARA, 「卒論を書く」講師(オンライン添削・講評), 5月25日(土)-1月25日(土)

瀧口 桃

- ・一般社団法人HAPS, 「未来の美術館構想講座事業」ゲスト講師, 10月13日(日)

森 未祈

- ・公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団茅ヶ崎市美術館講師, 文化芸術教育プログラム「先生応援ギャラリーツアー」, 8月17日(土)

◎委員・審査員等**蔵屋美香**

- ・公益財団法人石橋財団評議員
- ・弘前市美術作品等収集選定委員会委員
- ・独立行政法人国際交流基金「国際展事業委員会」委員
- ・公益財団法人神奈川芸術文化財団理事
- ・金沢21世紀美術館美術品収集委員会委員
- ・滋賀県立美術館協議会委員
- ・第42回京都市賞 思想・芸術部門 委員候補選定委員会委員(非常勤)

柏木智雄

- ・「第9回東山魁夷記念 日経日本画大賞」推薦委員
- ・公募 作家・研究者支援プログラム(2024年度) 審議委員会委員
- ・平塚市美術品選定評価委員
- ・東京国立近代美術館美術作品購入等選考委員会委員(美術部門)
- ・横須賀美術館運営評価委員会委員
- ・東京都現代美術館運営諮問委員会委員

帆足亜紀

- ・トーキョーアーツアンドスペース外部評価委員
- ・国立アートリサーチセンター「アーティストの国際発信支援プログラム」選考委員
- ・公益財団法人小笠原敏晶記念財団 文化・芸術助成事業選考委員

松永真太郎

- ・文化庁第75回芸術選奨推薦委員

片多祐子

- ・藤沢市アートスペース運営協議会委員

大塚真弓

- ・黄金町AIR 審査員
- ・国立民族学博物館国際研修博物館学コース運営委員会専門委員

園田泰士

- ・第23回カナガワビエンナーレ国際児童画展 第1次審査員

調査研究・普及活動（個人）

八柳サエ

- ・佐藤美術館 奨学金選考委員
- ・川越市立美術館美術品等選考評価委員会委員

襟川文恵

- ・PROJECT ATAMI / ATAMI ART GRANT 審査員
- ・アーツカウンシル東京外部評価委員
- ・日本和文化グランプリ審査員

飯岡 陸

- ・PARADISE AIR LONGSTAY Program 2024-25ゲスト審査員

南島 興

- ・KAMIYAMA ART カドリエンナーレ 2024 ～4年に一度の展覧会～
作品審査委員

森 未祈

- ・学校法人 写真学園 東京総合写真専門学校評議員

◎その他

葎屋美香

- ・「4Kプレミアムカフェ」出演, 株式会社NHKエンタープライズ, 8月28日(水)

帆足亜紀

- ・せんだい・アート・ノード・プロジェクト アドバイザー

中村尚明

- ・雑誌「時空旅人」特集号のためのイサム・ノグチに関する取材
- ・High Museum of Art Atlanta 展覧会アドバイザー

大澤紗蓉子

- ・第2回絹谷幸二芸術賞 若手美術作家推薦

飯岡 陸

- ・第7回昌原彫刻ビエンナーレ2024アドバイザー(co-thinker of gudeul)

美術図書室の活動



撮影：新津保建秀



こどもの本コーナー 撮影：新津保建秀



muse-lib見学会

美術図書室(旧・美術情報センター)は、美術に関する図書資料、映像資料等を取集、整理、保存し、市民や研究者の利用に供することを目的とし運営しています。また、所蔵資料を活用し、展覧会をはじめとする館事業と連携しています。

開室時間：10:00～18:00(入室および各種利用受付17:30まで)

*木曜日、年末年始及び特別整理期間は休室
令和6年11月1日よりリニューアルオープン。

収集・整理・保存・利用状況

収集実績

| | 購入 | 寄贈 | 合計 |
|-------|------|--------|--------|
| 和書 | 279冊 | 286冊 | 565冊 |
| 洋書 | 33冊 | 99冊 | 132冊 |
| 和カタログ | 10冊 | 1,188冊 | 1,198冊 |
| 洋カタログ | 34冊 | 54冊 | 88冊 |
| 雑誌 | 270冊 | 793冊 | 1,063冊 |
| 収集総数 | | | 3,046冊 |

| | |
|-------------|-----------|
| マイクロ資料選及整理数 | 82点 |
| 蔵書総数 | 243,653冊 |
| 逐次刊行物 | 3,616タイトル |

利用状況

| | |
|------------|------------|
| 開室日数 | 125日 |
| 利用者数 | 7,087人 |
| レファレンス | 96件 |
| 閉架資料利用 | 207件(695冊) |
| コピー利用 | 123件 |
| 映像視聴コーナー利用 | 29件 |
| マイクロリーダー利用 | 1件 |
| 電子ジャーナル利用 | 1件 |

所蔵資料貸出

美術図書室外への所蔵資料貸出

コレクション展「新たにむかえた作品たちー生活・手仕事・身体」展
期間：令和7年2月8日(土)～6月2日(月)
点数：11点

資料展示・公開等

展示関連資料コーナー

会期中、「おかえり、ヨコハマ」展、コレクション展に関連する蔵書を閲覧室内で紹介するコーナーを設けました。

活動紹介および見学会・研修受入れ

muse-lib(アート・ドキュメンテーション学会 美術館図書室SIGミュージアムライブラリーの会)見学会
日時：令和7年1月27日(月) 14:30～16:30
参加人数：11人

教育普及事業

概要

横浜美術館の教育普及活動は〈鑑賞〉と〈造形〉の二つを軸に展開しています。当館の基本理念である「みる」「つくる」「まなぶ」にならない、学芸員およびエドゥケーターがそれぞれの専門性を活かし、作品と向き合う「みる」体験、創作を通じた「つくる」体験を通して、美術に触れ、理解を深めるプログラムを企画・実施しています。また、アウトリーチ活動等、より多くの市民が館外でも美術に触れ、親しむためのさまざまな取り組みを行っています。

鑑賞プログラムでは、企画展やコレクション展に関連したトークやレクチャー、シンポジウム等を通して、作品やアーティストへの理解を深める機会を提供しています。また、鑑賞サポートツールの製作や、子どもと保護者を対象としたプログラム、障がいのある方とともに楽しむ鑑賞会の開催など、子どもから大人まで、多様な背景をもつ人たちが等しく美術を楽しむ機会を創出しています。

造形プログラムは主に「子どものアトリエ」と「市民のアトリエ」にて展開しています。子どものアトリエでは、小学校6年生までを対象とし、「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」の3部屋を拠点に、造形体験を提供しています。平日は市内の幼稚園・保育園・小学校等の児童を受け入れ、アトリエでの造形活動や展示室での鑑賞を行う「学校のためのプログラム」を、週末には個人向けの「みんなのフリーゾーン」や造形講座などを実施。プログラムを通じて子どもたちの創造力と自立心を育むことを目指しています。また市内の教育機関との連携による、教員向けの研修も行っています。

市民のアトリエでは、12歳以上を対象に、「版画室」「平面室」「立体室」といった専門的な設備を備えた創作空間において、アーティストやエドゥケーターを講師とした多彩な講座を展開しています。素材や技法との出会いから本格的な創作体験まで、幅広い内容の講座を提供するほか、「オープンスタジオ」として施設を開放し、市民の自主的な制作活動をサポートしています。さらにコレクション作品や展覧会と関連づけたプログラムの提供にも力を入れています。

令和6年度の総括

今年度は第8回横浜トリエンナーレで開設した「こどものアートひろば『はらっぱ』」の運営からスタートしました。エドゥケーターが企画立案から運営まで担う初めての試みでしたが、1万人以上の来場者を迎え好評のうちに終了しました。また、会期中のパブリックプログラムも企画・実施しました。トリエンナーレ終了後は、アトリエ再開に向けた準備に着手しました。令和7年度から本格再開する「学校のためのプログラム」については内容の見直しを行い、造形に加えて鑑賞を主としたプログラムを新設したほか、参加校の募集に際しては、すべてオンラインでの応募・抽選による決定に方法を切り替えました。夏休み期間中には新規事業として、市内の放課後キッズクラブで造形ワークショップを実施しました。11月の一部オープン時には、開館以来35年ぶりにアトリエ施設を一般に公開する見学会を開催。子どものアトリエでは「みんなのフリーゾーン」など個人向けプログラムを再開したほか、市民のアトリエでは創作体験プログラムなど、新たなユーザーに向けた企画を実施しました。「おかえり、ヨコハマ」展とコレクション展では、鑑賞チームのエドゥケーターが企画担当として加わり、「子どもの目でみるギャラリー」や鑑賞サポートツールをプロデュースしました。さらに、手話による館内案内映像や、絵や写真を使いわかりやすい文章で当館を案内する社会学習ツール「ソーシャルストーリー」など、アクセシビリティに配慮したコンテンツを製作・公開しました。



撮影：加藤 甫





❖



展覧会関連事業

企画展

◎第8回横浜トリエンナーレ

こどものアートひろば「はらっぱ」

日時：4月1日(月)～6月9日(日) 10:00～16:00
 空間構成：伊東純子(横浜トリエンナーレレパブリックプログラムアーティスト)
 担当：岡崎智美, 桜庭瑠実, 園田泰士, 瀧口 桃, 濱野絵美, 藤谷まゆ子, 平松朋子
 参加費：無料
 対象：どなたでも
 会場：プロジェクトスペース
 参加人数：10,870人(令和6年4月1日から令和7年6月9日まで)

ちょこっとガイドツアー

日時：①4月7日(日)・23日(火), 5月26日(日) 14:00～14:30
 ②4月27日(土), 5月11日(土)・25日(土) 12:00～12:30
 担当：岡崎智美, 森 未祈, 發知言織
 参加費：無料
 会場：グランドギャラリー, ギャラリー8, 美術館周辺
 参加人数：①65人, 51人, 88人
 ②39人, 61人, 60人

ユースプログラム「横浜トリエンナーレを体験しよう! 伝えよう!」

講師：山下陽光(横浜トリエンナーレ参加アーティスト) ※第3回(4月13日)
 日時：4月13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日) 10:00～15:00
 番外編：4月28日(日) 10:00～15:00
 担当：森 未祈, 岡崎智美, 發知言織
 参加費：無料
 会場：本編＝横浜美術館, 旧第一銀行横浜支店
 番外編＝BankART KAIKO, 馬車道駅, 象の鼻パーク, 元町・中華街駅, クイーンズスクエア横浜
 参加人数：16人, 18人, 15人, 17人, 10人

ファミリープログラム「描こう、つくろう、野草になろう!」

日時：4月27日(土), 5月11日(土)・25日(土) 10:30～12:00
 担当：桜庭瑠実, 園田泰士, 瀧口 桃, 濱野絵美
 参加費：ひとり100円
 対象：小学生以下の子どもとその保護者
 会場：子どものアトリエ
 参加人数：64人, 82人, 121人
 協力：株式会社スリーハイ

ダンボールであそび場をつくろう

進行：NPO法人Sharing Caring Culture(SCC), 岡崎智美
 日時：4月28日(日) 13:00～16:00
 担当：岡崎智美, 森 未祈, 發知言織,

藤谷まゆ子, 平松朋子

参加費：無料
 対象：外国人または日本人の子ども(4歳から小学生)とその保護者
 会場：子どものアトリエ, グランドギャラリー
 参加人数：66人(31組)
 協力：メイドインつづき, 古河電工パワーシステム株式会社, ガーデン&エクステリア LEADあざみ野, 小岩井牛乳横浜ミルクセンター

置くだけで作品になるインスタレーション体験

講師：佃 弘樹(横浜トリエンナーレ参加アーティスト)
 日時：5月3日(金祝) 10:30～12:30
 担当：園田泰士, 瀧口 桃, 木下貴博
 参加費：ひとり500円
 対象：小学生以上
 会場：子どものアトリエ
 参加人数：29人

建築家と語る「野草：いま、ここで生きてる」

登壇者：蛭川 結, 森 創太, リウ・ティン, キャロル・インホワ・ルー
 日時：5月3日(金祝) 13:00～14:15
 担当：片多祐子
 参加費：無料
 会場：レクチャーホール
 参加人数：88人

北島敬三+森村泰昌と語る「野草の肖像」

登壇者：北島敬三(横浜トリエンナーレ参加アーティスト), 森村泰昌(横浜トリエンナーレ参加アーティスト), リウ・ティン, キャロル・インホワ・ルー
 日時：5月3日(金祝) 15:30～17:00
 担当：国際グループ
 参加費：無料
 会場：レクチャーホール
 参加人数：133人

ヤマガタ・トウイークスター(山形童子) × 松本哉トーク

登壇者：ヤマガタ・トウイークスター(山形童子)(横浜トリエンナーレ参加アーティスト), 松本 哉(横浜トリエンナーレ参加アーティスト)
 司会：江上賢一郎(東京藝術大学 特任教授)
 日時：5月11日(土) 16:00～17:30
 担当：日比野民蓉
 参加費：無料
 会場：チケット売り場横休憩スペース(現ミュージアムショップMYNATE, 馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室)
 参加人数：56人



こどものアートひろば「はらっぱ」 ❖



ちょこっとガイドツアー



ユースプログラム ❖❖



描こう、つくろう、野草になろう! ❖



置くだけで作品になるインスタレーション体験 ❖❖



ことばで一緒にみる鑑賞会 ❖❖



オンラインで楽しむ妄想モクモク鑑賞会 ❖❖



木版画の体験プログラム 撮影：加藤 甫



木版画によるライブパフォーマンス 撮影：加藤 甫



スクールプログラム



ビビッと!びじゅつ探検ツアー



「Bizyutsukanってどんなところ? 横浜美術館」

ことばで一緒にみる鑑賞会

ナビゲーター:

視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

日時:①5月12日(日) 10:30~12:30

②5月12日(日) 14:30~16:30

※手話通訳あり

③5月26日(日) 10:30~12:30

④5月28日(火) 14:30~16:30

担当:岡崎智美,森 未祈,發知言織

参加費:無料

対象:関心のあるすべての人,視覚に障がいのある人

会場:市民のアトリエ 平面室,ギャラリー

参加人数:①15人 ②18人 ③7人 ④8人

(すべて介助者を含む)

オンラインで楽しむ妄想モクモク鑑賞会

ファシリテーター:

カミジョウミカ,天水みちえ(「みんなでミュージアム」コーディネーター)

進行:梅田亜由美(みんなでミュージアム),岡崎智美

日時:5月18日(土) 13:00~15:00

担当:岡崎智美,森 未祈,發知言織

参加費:無料

対象:関心のあるすべての人,実際に横浜トリエンナーレに行くことが難しい人,発達障がいのある人,視覚に障がいのある人など

会場:オンライン

参加人数:6人

SIDE COREによる詩の朗読会

アーティスト:

SIDE CORE(横浜トリエンナーレ参加アーティスト),ダニエル・ミラー

日時:5月18日(土) 16:00~17:00

担当:大澤紗蓉子

参加費:無料

会場:横浜美術館 SIDE CORE作品《big letters, small things》の前

参加人数:20人

木版画の体験プログラム「vivian sui methodの『インダストリアル・ウッドブロックエクササイズ』を体験してみませんか」

アーティスト:数見亮平(vivian sui method)

日時:5月18日(土)・19日(日) 13:00~16:00

担当:濱野絵美,瀧口 桃,桜庭瑠実,木下貴博

参加費:無料

会場:チケット売り場 横休憩スペース(現ミュージアムショップMYNATE,馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室)

参加人数:117人,133人

蔵屋美香が語る 親子でできる「考える力」:現代アートを通して、横浜トリエンナーレでできること

日時:5月19日(日) 13:30~15:00

登壇者:蔵屋美香

担当:帆足亜紀

参加費:無料

対象:主にティーンエイジャーとその保護者

会場:レクチャーホール

参加人数:144名

野草の生きかた:ふつうの人が世界を変える 一映画『首相官邸の前で』上映会&トーク

小熊英二×蔵屋美香

登壇者:小熊英二(慶應義塾大学総合政策学部教授),蔵屋美香

日時:5月26日(日) 13:30~16:30

担当:国際グループ

参加費:無料

会場:レクチャーホール

参加人数:138人

木版画によるライブパフォーマンス 「vivian sui methodのインダストリアル・ウッドブロックエクササイズの実演」

アーティスト:vivian sui method(数見亮平,桐月沙樹,齋藤 匠,須田貴哉)

日時:6月8日(土) 18:00~19:00

担当:瀧口 桃,濱野絵美,桜庭瑠実,木下貴博

参加費:無料

会場:チケット売り場 横休憩スペース(現ミュージアムショップMYNATE,馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室)

参加人数:228人

小学校のためのスクールプログラム

担当:岡崎智美,森 未祈,發知言織,木下貴博,瀧口 桃,藤谷まゆ子

参加費:無料

対象:横浜市内の小学校4・5・6年生

会場:子どものアトリエ,グランドギャラリー,ギャラリー8,ギャラリー9,その他ギャラリー(5月24日のみ),美術館周辺

参加校:4校

横浜市立寺尾小学校

日時:5月14日(火) 10:00~12:00

参加人数:88人

横浜市立平沼小学校

日時:5月15日(水) 10:00~12:00

参加人数:108人

横浜市立東小学校

日時:5月17日(金) 10:00~12:00

参加人数:63人

横浜市立生麦小学校

日時:5月24日(金) 10:00~12:00

参加人数:60人

pp.28-31 ❖撮影:大野隆介 ❖❖撮影:加藤 甫

写真提供:横浜トリエンナーレ組織委員会

◎横浜美術館リニューアルオープン
記念展「おかえり、ヨコハマ」

アーティスト・インタビュー「映画と空間：アーティスト／映画監督、クリス・チョン・チャン・ファイに聞く」*和英逐次通訳つき
登壇者：クリス・チョン・チャン・ファイ（本展出品アーティスト／映画監督）
聞き手：蔵屋美香
日時：2月8日（土）14:00～15:30
参加費：無料
会場：「おかえり、ヨコハマ」展 展示室
参加人数：50人

記念講演「おかえり、ヨコハマ」展を10倍楽しもう *手話通訳つき
登壇者：蔵屋美香
日時：3月1日（土）14:00～15:30
参加費：無料
会場：レクチャーホール
参加人数：85人

「おかえり、ヨコハマ」展 ギャラリートーク
日時：3月15日（土）14:00～14:45
担当：蔵屋美香、大塚真弓
参加費：無料
会場：「おかえり、ヨコハマ」展 展示室
参加人数：40人

ファミリープログラム「ビビッと！びじゅつ探検ツアー」
日時：3月23日（日）
10:30～12:00,14:00～15:30
担当：岡崎智美、森 未祈、發知言織
参加費：1組 2,000円
※保護者観覧料1人分を含む。
※保護者（中高生以上）2人の場合は別途1人分の観覧券が必要。
対象：5歳～小学生の子どもとその保護者（最大3人まで）
会場：ギャラリー、まるまるラウンジ
参加人数：22人、20人

◎SIDE CORE×横浜美術館
「KAIVOS／カイロス」

ラウンジトーク
登壇者：SIDE CORE、菊地良太、コムアイ、TOKYO ZOMBIE、森山泰地、竹田大純[HAUS (monosus, inc.)]、林 洋介[HAUS (monosus, inc.)]、稲福孝信[HAUS (monosus, inc.)]、蔵屋美香
日時：3月30日（日）14:00～15:30
参加費：無料
担当：片多祐子、大澤紗蓉子
会場：横浜美術館まるまるラウンジ（グラントギャラリー内）

コンテンツ

◎映像

公開

●第8回横浜トリエンナーレ アーティストインタビュー
出演：ヨアル・ナンゴ（横浜トリエンナーレ参加アーティスト）、SIDE CORE（横浜トリエンナーレ参加アーティスト）、岡崎真理子（REFLECTA, Inc./ビジュアル・デザイン）
2024年2月6日（火）ウェブサイトで公開。
3月15日（金）以降会場で上映
撮影・編集：西野正将
担当：森 未祈、大塚真弓、古藤 陽

●第8回横浜トリエンナーレ ユースプログラム「横浜トリエンナーレを体験しよう！伝えよう！」記録映像
・志賀理江子レクチャー 6月29日（土）公開
・SIDE COREとの活動の様子 8月9日（土）～2025年8月30日（土）公開
・山下陽光との活動の記録 7月30日（火）公開
・蔵屋美香レクチャー 8月19日（月）公開
撮影・編集：六島芳朗
担当：森 未祈、岡崎智美、發知言織

●第8回横浜トリエンナーレ パブリックプログラム 佃 弘樹ワークショップ「置くだけで作品になるインスタレーション体験」記録映像
7月18日（木）公開
担当：瀧口 桃
協力：Nanzuka

撮影・制作

※完成映像は、令和7年度より館内およびウェブサイトにて公開

●じっくりみる、この一点
・浅井裕介《八百万の森へ》
・下村観山《小倉山》
・サルパドール・ダリ《ガラの測地学的肖像》
・ルネ・マグリット《レカミエ夫人》
・宮川香山（初代）《高浮彫牡丹二眠猫覚醒 大香炉》
・笹井 弘《動植物》
撮影・編集：西野正将
担当：桜庭瑠実、坂本恭子、森 未祈

●ビジュツカンってどんなところ？横浜美術館 アニメーション：ささきえり
音楽：いちやなぎ、松尾湧佑, kyoro
担当：岡崎智美

●親子で楽しむ横浜美術館 手話によるご案内（日本語字幕・音声ガイド付き）
ディレクター：撮影・編集：今井ミカ
制作：株式会社サンドプラス
担当：森 未祈

◎印刷物

子どもミッションシート

イラスト：ささきえり
デザイン：太田博久
担当：森 未祈

ビビッと！びじゅつ探検カード

デザイン：太田博久
担当：森 未祈

◎ウェブコンテンツ

「Social Story はじめて美術館にいきます。横浜美術館」
担当：發知言織、岡崎智美、森 未祈
発行日：3月25日（火）
監修・制作協力：
独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター

子どものアトリエ



油絵をみてみよう! 描いてみよう!



積んであそぼう! どうぶつバランストイ



障がいのある子どものための造形プログラム



はじめての造形あそび



みんなのフリーゾーン



学校のためのプログラム

個人の造形プログラム

油絵をみてみよう! 描いてみよう!

日時:(各日曜) [3回]
2月9日・16日・23日 14:00~16:00
担当:藤谷まゆ子, 園田泰士, 瀧口 桃
参加費:6,500円
対象:小学校4・5・6年生
会場:子どものアトリエ
参加人数:17人/回

積んであそぼう! どうぶつバランストイ

日時:(各日曜) [3回]
3月2日・9日・16日 14:00~16:00
担当:瀧口 桃, 園田泰士, 藤谷まゆ子
参加費:5,000円
対象:小学校1・2・3年生
会場:子どものアトリエ
参加人数:20人/回

障がいのある子どものための造形プログラム

日時:(各土曜) [2回] 10:00~11:30
Aコース 2月22日
Bコース 3月15日
担当:園田泰士, 瀧口 桃, 藤谷まゆ子
参加費:200円
対象:個別支援学級, 特別支援学校等に通う
子どもとその保護者・きょうだい
会場:子どものアトリエ
参加人数:A13人, B39人

学校のためのプログラム

造形プログラム+美術館さんぽ・鑑賞プログラム(3校) [幼稚園・保育園2園/小学校1校]

時間:10:00~13:40
担当:園田泰士, 瀧口 桃, 藤谷まゆ子
会場:子どものアトリエ, ギャラリー
年間参加者数:98人

3月5日(水) にじいろ保育園みなとみらい/6人
3月12日(水) 横浜市立みなとみらい本町小学校/82人
3月19日(水) むつみ愛児園/10人

みんなのフリーゾーン

日時:(各日曜) [11回] 10:00~11:30
担当:園田泰士, 瀧口 桃, 藤谷まゆ子
参加費:200円
対象:小学生以下の子どもとその保護者
会場:子どものアトリエ
年間参加人数:2,111人

11月17日 Aコース/100人
11月24日 Bコース/101人
12月1日 Aコース/103人
12月8日 Bコース/169人
12月15日 Cコース/184人
2月9日 Aコース/201人
2月16日 Bコース/190人
2月23日 Cコース/176人
3月2日 Dコース/199人
3月9日 Eコース/280人
3月16日 Fコース/408人

はじめての造形あそび

日時:(各水曜) [4回] 10:00~11:30
担当:園田泰士, 瀧口 桃, 藤谷まゆ子
参加費:200円
対象:未就学児とその保護者
会場:子どものアトリエ
年間参加人数:158人

11月 Aコース 11月20日/35人
Bコース 11月27日/35人
12月 Aコース 12月4日/41人
Bコース 12月11日/47人

市民のアトリエ

個人対象プログラム

市民のアトリエ体験ワークショップ

—テラコッタとシルクスクリーン

講師：木下貴博, 桜庭瑠実, 濱野絵美, 平松朋子

日時：Aコース 11月23日(土祝), 12月21日(土)
13:30~16:30

Bコース 11月24日(日), 12月22日(日)
13:30~16:30

Cコース 2月2日(日), 3月2日(日)
13:30~16:30

担当：木下貴博, 桜庭瑠実, 濱野絵美, 平松朋子

参加費：2,000円

対象：12歳以上

会場：市民のアトリエ 版画室, 平面室, 立体室

参加人数：A18人, B15人, C16人

石をはつる、磨く

講師：平松朋子

日時：2月15日(土) 13:30~16:30

担当：平松朋子, 木下貴博

参加費：3,000円

対象：12歳以上

会場：市民のアトリエ 立体室

参加人数：12人

新聞紙で動物をつくろう！

講師：遠藤良亮(造形作家)

日時：(各水曜) [3回] 3月12日・19日・26日
13:30~16:00

担当：木下貴博, 平松朋子

参加費：7,000円

対象：12歳以上

会場：市民のアトリエ 立体室

参加人数：14人

ゆっくりじっくり描く時間

—静物デッサンと人体クロッキー—

講師：濱野絵美

日時：Aコース 2月9日(日)・16日(日)
13:30~16:00

Bコース 2月19日(水)・26日(水)
13:30~16:00

担当：濱野絵美, 桜庭瑠実

参加費：6,000円

対象：12歳以上

会場：市民のアトリエ 平面室

参加人数：A17人, B16人

見て知る!いろいろな版画

講師：桜庭瑠実

インストラクター：山崎 慧 *リトグラフコース

日時：シルクスクリーンコース
2月8日(土) 10:30~15:30

銅版画コース
2月22日(土) 10:30~15:30

リトグラフコース
3月15日(土) 10:30~15:30

担当：桜庭瑠実, 濱野絵美

参加費：3,000円

対象：12歳以上

会場：市民のアトリエ 版画室

参加人数：シルクスクリーン15人, 銅版画12人,
リトグラフ12人

木のスプーンをつくる

講師：木下貴博

日時：(各火曜) [3回] 3月4日・11日・18日
13:30~16:00

担当：木下貴博, 平松朋子

参加費：5,000円

対象：12歳以上

会場：市民のアトリエ 立体室

参加人数：12人

リニューアルオープン記念

トーク&ワークショップ「新宮 晋の世界」

*リニューアルオープン記念事業 参照(p.50)



市民のアトリエ体験ワークショップ



石をはつる、磨く



新聞紙で動物をつくろう!



ゆっくりじっくり描く時間



見て知る!いろいろな版画



木のスプーンをつくる

市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業



キッズプログラムサポーター 活動の様子 撮影：大野隆介



みんなのフリーゾーンボランティア 活動の様子



Live! 横浜 2024



Live! 横浜 2024



横浜市図画工作科美術科専門研修



教師のためのワークショップ

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。ボランティア事業、人材育成事業、アウトリーチ等を行っています。

ボランティア

横浜トリエンナーレ キッズプログラム Aワークショップサポーター

活動日時：(各土曜) [3回] 4月27日、
5月11日・25日 10:00~11:30
登録人数：24人
参加人数：13人, 12人, 14人

横浜トリエンナーレ キッズプログラム Bキッズスペースサポーター

活動期間：4月1日(月)-6月9日(日)
登録人数：29人
参加人数：延べ211人

子どものアトリエ みんなのフリーゾーン ボランティア

活動期間：11月17日(日)-3月31日(月)
登録人数：28人
参加人数：延べ142人

地域にひろがる取組み

Live! 横浜2024関連プログラム「こどもの アートひろば」

日時：11月9日(土)・10日(日) 11:00~16:00
担当：桜庭瑠実, 園田泰士, 木下貴博, 瀧口 桃,
濱野絵美, 平松朋子, 藤谷まゆ子
参加費：無料
対象：どなたでも
会場：プロジェクトスペース, ポルティコ
参加人数：829人, 886人
主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

●フォトスポット、コレクション紹介コーナー コレクション解説執筆：松永真太郎

●ワークショップ「ギターをつくろう! ならそう! Supported by Yamaha」

時間：11:15~12:00, 12:15~13:00,
14:00~14:45, 15:00~15:45
参加費：無料
対象：4歳~12歳
会場：プロジェクトスペース
参加人数：11月9日(土) 152人
11月10日(日) 161人
協力：ヤマハ株式会社

●ワークショップ「歌う!ばくばく紙工作」

時間：11:00~16:00
参加費：無料
対象：どなたでも

会場：ポルティコ

参加人数：11月9日(土) 451人
11月10日(日) 486人

人材育成事業

教育委員会主催の研究会との連携による鑑賞会

横浜市小学校図画工作科研究会
日時：4月24日(水) 14:30~16:30
会場：レクチャーホール
参加人数：82人

横浜市立中学校教育研究会美術科部会

日時：5月8日(水) 14:30~16:30
会場：レクチャーホール
参加人数：126人

神奈川県公立中学校教育研究会美術科部会

日時：5月31日(金) 13:30~16:30
会場：レクチャーホール
参加人数：99人

令和6年度横浜市図画工作科美術科専門研修 「仲間との対話を通して、広げ深める鑑賞活動」 ~横浜美術館コレクションから鑑賞の楽しさを学び、実践に生かそう~

日時：2月12日(水) 15:30~16:45
担当：發知言織, 岡崎智美, 森 未祈
対象：小・中・高・特別支援学校教諭, 主幹教諭,
管理職
会場：ギャラリー, 市民のアトリエ 平面室
参加人数：31人
共催：横浜市教育委員会, 横浜市芸術文化教育
プラットフォーム

教師のためのワークショップ

講師：三ツ山一志(彫刻家/造形教育家)
日時：3月22日(土) 10:00~16:00
担当：園田泰士, 瀧口 桃, 藤谷まゆ子
参加費：6,000円
対象：幼児・初等・養護教育に携わっている方
会場：子どものアトリエ
参加人数：24人

市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

アウトリーチ事業等

◎アウトリーチ

【外部機関や団体と連携した取組み】

大学連携 高齢者施設訪問ワークショップ
横浜美術館×戸部ハマノ愛生園×横浜国立
大学教育学部

「スタンプをボンボン 植物の形を楽しむ巾着
づくり」

日時：(各火曜) [3回]

①10月29日 14:00~15:00

②11月12日 14:00~15:30

③11月19日 14:00~15:00

担当：木下貴博, 桜庭瑠実, 濱野絵美, 平松朋子
対象：横浜国立大学教育学部美術科学生, 戸
部ハマノ愛生園入所者(③のみ)

会場：①市民のアトリエ 立体室

②横浜国立大学

③特別養護老人ホーム戸部ハマノ愛生園

参加人数：①12人 ②13人

③13人(横浜国立大学教育学部美
術科学生) / 10人(戸部ハマノ愛
生園入所者)

◎子どもの文化体験推進事業

「みちくさ*アート」

「バランスのよい色をつくろう!」「モノタイプ版画
に挑戦!」

日時：7月30日(火), 8月5日(月)

10:30~11:30

担当：園田泰士, 桜庭瑠実, 瀧口 桃, 濱野絵美,
平松朋子, 藤谷まゆ子

対象：小学校1~4年生 放課後キッズクラブ
参加者

会場：横浜市立元街小学校 放課後キッズク
ラブ

参加人数：22人, 10人

「モノタイプ版画に挑戦!」

日時：8月7日(水) 10:30~11:30

担当：桜庭瑠実, 園田泰士, 瀧口 桃, 濱野絵美,
平松朋子, 藤谷まゆ子

対象：小学校1~6年生 放課後キッズクラブ
参加者

会場：横浜市立立野小学校 放課後キッズク
ラブ

参加人数：31人

◎横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム

横浜市立川井小学校

「ひらめき図工時間 ○○○みたいな○○○
作り」

講師：こいちりょうじ(こども造形研究家)

日時：9月4日(水)・6日(金)・18日(水)

担当：園田泰士, 藤谷まゆ子

対象：個別支援学級1~6年生 2クラス

会場：横浜市立川井小学校

参加人数：16人, 17人, 17人

横浜市立西富岡小学校

「理想の自分を等身大で描こう!」

講師：浅葉 弾(虹のあそび隊/子どもアート
プロデューサー/クリエイティブディレ
クター)

日時：11月26日(火)・27日(水)・28日(木)

担当：濱野絵美, 木下貴博, 平松朋子

対象：小学校2年生 3クラス

個別支援級 1クラス

会場：横浜市立西富岡小学校

参加者参加人数：73人, 74人, 75人

横浜市立桂台小学校

「好きな色で描こう・スーパークーをつくろう」

講師：三ツ山一志(彫刻家/造形教育家)

日時：1月28日(火), 2月3日(月)・4日(火)

担当：瀧口 桃, 桜庭瑠実

対象：個別支援学級1~6年生 2クラス

会場：横浜市立桂台小学校

参加人数：13人, 9人, 10人

◎HEART to ARTによる開催

※HEART to ARTについては 外部と連携し
た事業 参照(p.44)

HEART to ARTお届けあと

●むつみ愛児園

「すてきなくるまをつくろう」

日時：10月11日(金) 10:00~11:30

担当：園田泰士, 瀧口 桃, 藤谷まゆ子

会場：むつみ愛児園

参加人数：19人

●神奈川県立こども医療センター

「五感でたのしもう!」「木っ端でつくろう!」

日時：10月23日(水)

10:15~11:30, 14:30~16:00

担当：岡崎智美, 園田泰士, 瀧口 桃,
藤谷まゆ子

会場：神奈川県立こども医療センター

参加人数：19人, 17人

●聖星保育園

「すてきなくるまをつくろう」

日時：1月31日(金) 10:00~11:30

担当：瀧口 桃, 園田泰士, 藤谷まゆ子

会場：聖星保育園

参加人数：28人



高齢者施設訪問ワークショップ



みちくさ*アート 横浜市立元街小学校



芸術文化教育プラットフォーム 横浜市立川井小学校



芸術文化教育プラットフォーム 横浜市立桂台小学校



HEART to ARTお届けあと「五感でたのしもう!」



HEART to ARTお届けあと「すてきなくるまをつくろう」

美術品の収集、保存・修復、貸出

収集

美術資料収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(令和7年3月現在15,684件所蔵)

近代及び現代美術の流れが展望できる内外のすぐれた美術資料を体系的に収集する。

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時のヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ピエオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

収集実績

分野別作品収集件数 ()内が令和6年度収集点数

| | 油彩 | | 版画 | 水彩・素描 | 彫刻・立体 | 工芸 | 写真・映像 | 建築 | 作品外資料* | 合計 |
|----|---------|----------|------------|------------|---------|---------|------------|---------|------------|--------------|
| | 日本画 | その他の絵画 | | | | | | | | |
| 購入 | 164 (0) | 200 (0) | 1,614 (0) | 63 (0) | 47 (0) | 82 (0) | 3,209 (3) | 0 (0) | 0 (0) | 5,379 (3) |
| 寄贈 | 799 (3) | 373 (13) | 3,847 (62) | 1,845 (10) | 103 (4) | 124 (0) | 1,355 (23) | 158 (1) | 1,701 (84) | 10,305 (200) |
| 合計 | 963 (3) | 573 (13) | 5,461 (62) | 1,908 (10) | 150 (4) | 206 (0) | 4,564 (26) | 158 (1) | 1,701 (84) | 15,684 (203) |

*「作品外資料」とは、美術作品そのものではなく、例えば、書簡のように画家・作家の足跡、交友関係がたどれる資料や、作品の制作に使用した道具のように、制作の背景を明らかにする資料です。(「横浜市美術資料収集方針」の4、「第1項から第3項に関連する資料」に該当します。)

*上記点数に寄託作品は含まれません。

令和6年度の主な収集作品

| 作家 | 作品名 |
|-------------------|----------------------|
| 小林古径 | 大毘古命図 |
| 富山妙子 | 廃墟 |
| 浅井裕介 | 《八百万の森へ》のための構想画 |
| 海老塚耕一 | 静止した水一旅の空から |
| 和田守弘 | 表基体'92一書物の水 |
| アネタ・グシェコフスカ | ママ#21 |
| 大谷幸夫／大谷研究室(旧設計連合) | 「こどもの国児童館」関連図面 擁壁平面図 |

* 令和6年度 of 全収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(令和7年度発行予定)を参照ください。

保存・修復

| 分野 | 作家名 | 作品名 | 収藏品番号 | 修復内容 |
|-------------|----------------------|-----------------------------|----------------------|-----------------------------------|
| 版画 | 歌川(五雲亭)貞秀 | 《横浜本町并に港崎町細見全図》 | 2018-PRJ-007 | マット装 |
| | | 《横浜鉄橋之図》 | 2018-PRJ-020 | マット装 |
| | 歌川広重(三代)[号:立斎] | 《東京横浜蒸気車鉄道之図》 | 2018-PRJ-029 | マット装 |
| | 利根山光人 | 《民俗》 | 2022-PRJ-063 | ドライクリーニング、洗浄、フォクシング 漂白、フラットニング |
| | アンディ・ウォーホル | 《フラッシュ》 | 85-PRF-017-01 ~11 | 額装の改良 |
| | アルブレヒト・デューラー | 《エジプトの聖家族(『聖母の生涯』より)》 | 2019-PRF-038 | マット装 |
| | | 《サテュロスの家族》 | 2019-PRF-039 | マット装 |
| | | 《磔刑(連作「受難」より)》 | 2019-PRF-040 | マット装 |
| | フランシスコ・デ・ゴヤ・イ・ルシエンテス | 《収監は犯罪と同様に野蛮である(囚人)》 | 2019-PRF-048 | マット装 |
| | レンブラント・ファン・レイン | 《帽子とスカーフを着けた自画像(陰になった顔、胸像)》 | 2019-PRF-116 | マット装 |
| | | 《サーベルを掲げるレンブラント》 | 2019-PRF-117 | マット装 |
| | | 《聖母の死》 | 2019-PRF-123 | マット装 |
| | | 《雲の中の聖母とキリスト》 | 2019-PRF-126 | マット装 |
| | ピエール=オーギュスト・ルノワール | 《浜辺にて、ヘルヌヴァル》 | 2019-PRF-132 | マット装 |
| シュザンヌ・ヴァラドン | 《樹下の裸婦たち》 | 2019-PRF-142 | マット装 | |
| 水彩・素描 | 五姓田義松 | 《横濱埋立地(公園)ヨリ山手中村ヲ望ム》 | 2019-DRJ-003 | マット装 |
| 工芸 | 宮川香山(初代) | 《高浮彫牡丹二眠猫覚醒大香炉》 | 2018-CJ-K-001 | 破損箇所でのクリーニング、接着、補強、充填、補色 |
| 写真・映像 | 小川晴暘 | 《新薬師寺金堂 十二神将 伐折羅大将像》 | 85-PHJ-021 | 窓マット交換、中性紙コーナー固定 |
| | 恩地孝四郎 | 《アスパラガス、『博物志』より》 | 95-PHJ-007 | 作品固定補強、マイラー内カバー交換 |

貸出

貸出件数・点数

貸出総件数：11件(うち海外0件)

貸出総作品数：60点

貸出実績

| 展覧会等名称・展示会場・会期 | 作家名 | 作品(資料)名・収蔵品番号 ※会場を限定して貸し出した作品については展示会場を補記 |
|---|--|---|
| 「驚異の細密表現展—江戸・明治の工芸から現代アートまで—」 横須賀美術館 令和6年4月20日(土)~6月23日(日) | 井村彦次郎 | 《色絵菊花文碗・皿》(2021-CJ-K-028 寄託作品[田邊哲人コレクション] ※三客のうちの二客のみの出品) |
| | | 《色絵花鳥文瓢形耳付花瓶》 (2021-CJ-K-029 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| | | 《色絵花鳥文瓢形花瓶》 (2021-CJ-K-031 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| | | 《色絵花鳥文花瓶》 (2021-CJ-K-032 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| | | 《色絵菊花文大皿》 (2021-CJ-K-034 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| | | 《色絵団扇文台鉢》 (2021-CJ-K-037 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| | | 《色絵花鳥文蓋付ソース入》 (2021-CJ-K-038 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| 滝藤萬次郎 | 《色絵花鳥文大花瓶》 (2022-CJ-K-042 寄託作品[田邊哲人コレクション]) | |
| 田代屋 | 《色絵花鳥文花瓶》 (2021-CJ-K-046 寄託作品[田邊哲人コレクション]) | 《色絵菊花文耳付花瓶》 (2021-CJ-K-047 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| | | 保土田太吉 |
| 宮川香山(初代) | 《色絵武帝西王母文獅子耳付花瓶》 (2021-CJ-K-061 寄託作品[田邊哲人コレクション]) | |
| クーン&コモル商会 | 《高浮彫大鷲雀捕獲花瓶》 (2017-CJ-K-001 寄託作品[田邊哲人コレクション]) | 《色絵人物文茶器セット》 (2022-CF-K-009 寄託作品[田邊哲人コレクション]) |
| | | 「生誕150年 池上秀畝 高精細画人」 長野県立美術館 令和6年5月25日(土)~6月30日(日) ※令和5年度に練馬区立美術館で開催後、巡回 |
| 特別展「かながわへのまなざし」 神奈川県立歴史博物館 令和6年8月10日(土)~10月6日(日) | ペーター・ヘルンハルト・ヴィル | 《ベルリ提督横浜上陸の図》(88-P-001) |
| 「PARALLEL MODE オディオロン・ルドン—光の夢、影の輝き」 岐阜県美術館 令和6年9月27日(金)~12月8日(日) ひろしま美術館 令和7年1月11日(土)~3月23日(日) ※令和7年度にパナソニック汐留美術館に巡回予定 | オディオロン・ルドン | 《二人の踊女》(83-OF-025) |
| 「ハニワと土偶の近代」 東京国立近代美術館 令和6年10月1日(火)~12月22日(日) | 中島清之 | 《古代より(一)》(2015-JP-003) |
| | | 《古代より(二)》(84-JP-016) |
| 「須田悦弘」 渋谷区立松濤美術館 令和6年11月30日(土)~令和7年2月2日(日) | 須田悦弘 | 《ガーベラ》(2010-DRJ-006) |
| | | 《ベルリン》(2010-DRJ-007) |
| | | 《雑草》(2010-DRJ-008) |
| 「小西真奈 Wherever」 府中市美術館 令和6年12月14日(土)~令和7年2月24日(月) | 小西真奈 | 《楽園3》(2014-OJ-006) |
| | | 《竜宮窟1》(2014-OJ-008) |

貸出

| 展覧会等名称・展示会場・会期 | 作家名 | 作品(資料)名・収蔵品番号 ※会場を限定して貸し出した作品については展示会場を補記 |
|--|------------|--|
| (承前) | | 《浄土》(2010-OJ-K-002 寄託作品) |
| | | 《浄土2》(2014-OJ-009) |
| | | 《滝》(2010-OJ-K-003 寄託作品) |
| 「BUTSUDORI ブツドリ:モノをめぐる写真表現」 滋賀県立美術館 令和7年1月18日(土)-3月23日(日) ※開館40周年記念 | 小川晴暘 | 《法隆寺 観音菩薩像(百済観音像)》(85-PHJ-02F) |
| | | 《法隆寺 観音菩薩像(百済観音像) 右手》 (85-PHJ-02H) |
| | | 《新薬師寺金堂 十二神将・伐折羅大将像》 (85-PHJ-02I) |
| | | 《中宮寺 菩薩半跏像(伝如意輪観音菩薩像) 右斜 側面》(85-PHJ-02J) |
| | 恩地孝四郎 | 《テュリップ・開花体》(『博物志』より) (95-PHJ-006) |
| | | 《アスパラガス》(『博物志』より) (95-PHJ-007) |
| | | 《ホウ・枯葉》(『博物志』より) (95-PHJ-008) |
| | | 《パパイヤ》(『博物志』より) (95-PHJ-010) |
| | | 《失題(花)》(95-PHJ-016) |
| | 坂本万七 | 《円成寺大日如来の手》(85-PHJ-053) |
| | | 《神護寺薬師如来の胸部》(85-PHJ-054) |
| | | 《薬師寺聖観音の手》(85-PHJ-055) |
| | 藤本四八 | 《薬師寺薬師三尊のうち本尊の足うらの紋様》 (85-PHJ-09E) |
| | | 《善財童子》(85-PHJ-09G) |
| | 山本牧彦 | 《ヴァイオリンの静物》(86-PHJ-132) |
| | | 《薔薇》(86-PHJ-133) |
| | | 《赤絵の壺のある静物》(86-PHJ-138) |
| 「パウル・クレー展一創造をめぐる星座」 愛知県美術館 令和7年1月18日(土)-3月16日(日) 兵庫県立美術館 令和7年3月29日(土)-5月25日(日) ※令和7年度に静岡市美術館に巡回予定 | マックス・エルンスト | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』I (83-PRF-002-01) |
| | | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』II (83-PRF-002-02) ※兵庫展 |
| | | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』III (83-PRF-002-03) |
| | | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』IV (83-PRF-002-04) ※兵庫展 |
| | | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』V (83-PRF-002-05) |
| | | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』VI (83-PRF-002-06) ※兵庫展 |
| | | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』VII (83-PRF-002-07) |
| | | 『生まれよファッション 滅びよ芸術』VIII (83-PRF-002-08) ※兵庫展 |
| | パウル・クレー | 《攻撃の物質、精神、象徴》(83-DRF-008) |
| 「松山智一展 FIRST LAST」 麻布台ヒルズ ギャラリー 令和7年3月8日(土)-5月11日(日) | 松山智一 | 《ブラック毛沢東、黄色ヨーゼフ・ボイス》 (*2024年度収蔵) |
| 「アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術一若冲からウオー ホル、リヒターへー」 鳥取県立美術館 令和7年3月30日(日)-6月15日(日) ※開館記念展 | ポール・ジャクレー | 《打ち明け話の相手》(連作「満州宮廷の王女たち」 より) (2003-PRF-179) |
| | | 《花嫁、ソウル》(2003-PRF-186) |
| | | 《オウム貝、ヤップ島》(2003-PRF-245) |
| | イヴ・タンギー | 《風のアルファベット》(85-OF-006) |

広報の活動、外部と連携した事業

広報



「おかえり、ヨコハマ」記者会見 撮影：加藤 健



「おかえり、ヨコハマ」内覧会 撮影：加藤 健



「おかえり、ヨコハマ」内覧会 撮影：加藤 健



コレクション展内覧会 撮影：加藤 健

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのためのお取り組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の関係性をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのためにウェブサイトを中心に印刷物やメールニュース、ソーシャルメディアなど、さまざまな媒体を活用した迅速かつ正確な発信に取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

露出件数

| 新聞 | 美術雑誌・一般雑誌・FP | ウェブ | TV・ラジオ | その他 | 海外 | 合計 |
|----|--------------|-------|--------|-----|----|-------|
| 42 | 198 | 1,759 | 54 | 19 | 21 | 2,093 |

展覧会広報

◎横浜美術館リニューアルオープン 記念展「おかえり、ヨコハマ」

記者会見・記者内覧会

日時：2月7日(金)

記者会見 14:00~14:30

記者内覧会 12:30~15:00

会場：記者会見 レクチャーホール

記者内覧会 展示室

登壇者：蔵屋美香

乾久美子（建築家・横浜国立大学大学院Y-GSA教授／空間構築,サイン計画）

菊地敦己（アートディレクター・グラフィックデザイナー／空間構築,サイン計画,リニューアルロゴ）

国井美果（コピーライター／ミュージアムメッセージ）

クリス・チョン・チャン・ファイ（「おかえり、ヨコハマ」出品作家）

檜皮一彦（「おかえり、ヨコハマ」出品作家）

松田 修（「おかえり、ヨコハマ」出品作家）

百瀬 文（「おかえり、ヨコハマ」出品作家）

参加人数：192人

開会式・特別内覧会

日時：2月7日(金)

開会式 15:00~15:20

特別内覧会 15:20~18:00

会場：グランドギャラリー、展示室

参加人数：755人(プレス192人含)

広報

全館広報

ウェブサイト

アクセス数: 4,354,473pv
(令和7年3月31日現在)

X

フォロワー数: 146,968
(令和7年3月31日現在)

Facebook

フォロワー数: 7,921
(令和7年3月31日現在)

note

フォロワー数: 620
(令和7年3月31日現在)

YouTube

登録者数: 2,084
(令和7年3月31日現在)

Instagram

フォロワー数: 7,156
(令和7年3月31日現在)

メールニュース

登録者数: 8,980人
(令和7年3月28日現在)
発行数: 定期便15回, 臨時便1回

◎首都圏に焦点をあてた広報展開

横浜美術館リニューアルオープン記念展

「おかえり、ヨコハマ」

●～館長が語る名作の見かた～ 新しい横浜

美術館となかよくなるう! @ミズキーホール

日時: 3月8日(土) 14:00～15:30

講師: 蔵屋美香

会場: 横浜市港北区民文化センター ミズキー
ホール 音楽ルーム(4F)

主催: 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

◎海外メディアへの広報

企画展, コレクション展で日英での展覧会プ
レスリリース作成
海外VIPへの展覧会招待状送付

マーケティング

展覧会アンケートに見る来場者プロフィール

*回収率()内=回収数÷総入場者数

おかえり、ヨコハマ

| | | |
|------|------------|-----|
| 総数 | 510通(0.7%) | |
| 来館回数 | 11回以上 | 12% |
| | 6～10回 | 8% |
| | 2～5回 | 25% |
| | 初めて | 45% |
| | 無回答 | 10% |
| 居住地 | 市内 | 52% |
| | 市外 | 37% |
| | その他 | 11% |
| 性別 | 女性 | 67% |
| | 男性 | 32% |
| | その他 | 1% |
| 年齢 | 19歳以下 | 25% |
| | 20代 | 20% |
| | 30代 | 11% |
| | 40代 | 12% |
| | 50代 | 14% |
| | 60代以上 | 18% |
| | 無回答 | 0% |

外部と連携した事業



ライトアップ



ライトアップ



ライトアップ

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

都市戦略との連携

◎横浜市が推進するイベント等との連携

Live! 横浜2024関連プログラム

「こどものアートひろば」

ワークショップ「ギターをつくろう! ならそう! Supported by Yamaha」

ワークショップ「歌う♪ばくばく紙工作」

*市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業 地域にひろがる取組み 参照(p.35)

ヨコハマミライト～みらいを照らす光のまち～

日時: 11月9日(土)-2月9日(日)

16:00～23:00

会場: 横浜駅東口からグランモール公園を中心としたみなとみらいエリア

主催: ヨコハマミライト実行委員会

外観ライトアップ 特別演出

6月22日(土)

GREEN×EXPO 2027

開催1000日前ライトアップ

8月9日(金)-18日(日)

ドラゴンクエストカーニバル in 横浜・みなとみらいライトアップ

9月10日(火)

自殺対策強化月間ライトアップ

11月1日(金)

児童虐待防止ライトアップ

11月4日(月祝)-12月1日(日)

ベイスターズ日本ーライトアップ

12月5日(木)-30日(月)

ヨルノヨ2024

3月22日(土)

EARTH HOUR 2025 in 横浜(ライトダウン)

専門館連携

横浜みなとみらいホール連携

オルガン・1ドルコンサート

第250回 250回記念 春は喜びとともに

日時: 3月19日(水)

12:20開演(11:40開場)

19:00開演(18:20開場)

出演: 近藤 岳

プログラム提示で横浜美術館リニューアルオープン記念展「おかえり、ヨコハマ」観覧料100円引き

期間: 3月19日(水)-31日(月)

外部との連携

食物アレルギー対応のおやつとごはん

「matoil (マトイル)」特別販売

日時: 4月14日(日), 5月5日(日)
10:30~17:30

会場: 横浜美術館前(マークイズみなとみらい側, 公園口近く)

主催: matoil

神奈川大学経営学部国際経営学科VTS体験

日時: 4月15日(月) 9:00~10:40
4月16日(火) 13:30~15:10

会場: 神奈川大学MMキャンパス

講師: 岡崎智美, 襟川文恵

東洋大学国際観光学部講義

●横浜美術館から見える観光

日時: 5月15日(水) 13:00~14:30

●アート鑑賞で磨く「見る」「考える」「聴く」「話す」

①対話型鑑賞ワークショップ

日時: 5月28日(火) 14:45~16:15

②コミュニケーションワークショップ

日時: 6月4日(火) 14:45~16:15

会場: 東洋大学白山キャンパス

講師: 襟川文恵

神奈川大学経営学部国際経営学科VTSによるコミュニケーションワークショップ①②

日時: 5月20日(月) 15:20~17:00
5月27日(月) 15:20~17:00

会場: 神奈川大学MMキャンパス

講師: 襟川文恵

神奈川大学国際日本学部国際文化交流学科

角山ゼミVTSによるコミュニケーションワークショップ①②

日時: 6月6日(木) 13:30~15:10
10月17日(木) 13:30~15:10

会場: 神奈川大学MMキャンパス

講師: 襟川文恵

ジャパンリアルエステイト投資法人

三菱地所プロパティマネジメント株式会社

「MMパークビル」エントランスホールでのコレクション映像作品及びコレクション紹介動画の放映

監修: 松永真太郎, 桜庭瑠実

担当: 襟川文恵

放映内容:

①レン・ライ《トレード・タワー》1937年

②じっくりみる この一点

「浅井裕介《八百万の森へ》」

日時: 4月1日(月)-3月31日(月)

7:00~21:00

ルイ・ヴィトンジャパン株式会社

ファッションショー

期間: 7月25日(木)-28日(日)

会場: 横浜美術館 じゆうエリア, ギャラリー1他

参加組数: 764組

横浜市立舞岡中学校 職業講話会

日時: 9月12日(木) 9:00~13:00

会場: 横浜市立舞岡中学校

講師: 襟川文恵

創造都市スクール2024(後期)

ユニット8『文化政策を巡って—経済界から学ぶ創造都市』にて「横浜信用金庫創立100周年」記念事業における横浜市文化基金への寄附を紹介

日時: 11月15日(金) 18:30~20:00

会場: オンラインまたは横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス他

登壇: 石井健二(横浜信用金庫 つきみ野支店長)

襟川文恵

主催: 横浜市立大学

Bloomberg Connects(ブルームバーグ・コネクト) 参加

世界の文化施設を紹介する無料のデジタルガイド「Bloomberg Connects(ブルームバーグ・コネクト)」に参加

日時: 2月7日(金) から参加

みなとみらい21 さくらフェスタ2025

“さくらパスポート” 対象店舗として参加

日時: 3月15日(土)-23日(日)

主催: みなとみらい21さくらフェスタ2025

実行委員会

NEWoMan YOKOHAMA

チケットサービスの対象施設として参加

日時: 3月から参加

近隣アートプログラム MARK IS みなとみらい店長会等

日時: [4回] 12月10日(火), 1月14日(火),
2月12日(水), 3月11日(火)

会場: レクチャーホール

参加人数: 約300人

特別鑑賞会

TOKYO GENDAI 2024 レセプション+特別鑑賞会

日時: 7月4日(木) 20:00~22:30

会場: グランドギャラリー, 第5展示室, ポルティコ, 美術の広場

参加人数: 552人

YOKOHAMA MICE SHOWCASE 2025

横浜美術館特別鑑賞会およびレセプション

日時: 2月27日(木) 16:30~18:30

会場: グランドギャラリー, 「おかえり, ヨコハマ」展示室

参加人数: 約120人

HEART to ART (企業向け芸術支援プログラム)

HEART to ARTは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプログラムです。企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。

参加企業: 5社

NTTテクノクロス株式会社

株式会社KSP

ジャパンリアルエステイト投資法人

ジョイテック株式会社

横浜信用金庫

参加企業との取組み

ジャパンリアルエステイト投資法人

横浜美術館アトリエ体験「初めてのデッサン・ワークショップ」

日時: 11月6日(水) 18:30~20:30

講師: 濱野絵美

参加人数: 13人

横浜信用金庫

アウトリーチ事業「お届けこあと」 3件

*市民協働、地域社会や市民生活に貢献する

事業 アウトリーチ事業等 参照(p.36)

NTTテクノクロス株式会社

みんなのフリーゾーン ボランティア

日時: (各日曜) [3回] 2月9日・16日・23日

参加人数: 4人, 4人, 4人

来館者へのおもてなし



LOUIS VUITTON HOLIDAYS CAROUSEL



ミュージアムショップ 撮影：新津保建秀



カフェ 撮影：新津保建秀

ビジターサービス

さまざまな方に向けたサービスとして、引き続き企画展観覧料の障がい者割引を実施しました。

MMcc(Minato Mirai community club) MMcc 横浜美術館ナイト「第8回横浜トリエンナーレ」

日時：4月19日(金) 18:30~20:30

参加費：大人2,000円,19歳以上の学生1,000円,18歳以下無料

参加団体数：約30団体

参加人数：173人

LOUIS VUITTON HOLIDAYS CAROUSEL

日時：11月29日(金)-12月25日(水)

11:00~20:00

参加費：無料

参加人数：28,100人

実施場所：横浜美術館屋外スペース

来館者へのおもてなし

ミュージアムショップとカフェ

11月の開店に向け、令和5年度に引き続き改修後のショップ・カフェについて検討を行いました。

カフェ運営は業務委託し、ショップ運営も休館前の直営から業務委託に切り替え、11月1日より揃って営業を開始しました。「みなとモデル」「じゆうエリア」の考え方を実現するための重要な場所の一つとして、当館の多様な来館者を迎え入れる施設の一翼を担いました。

◎ミュージアムショップ「MYNATE」(ミナト)

10月までの休館中は横浜美術館オリジナルグッズ、第8回横浜トリエンナーレカタログや展覧会バックナンバー図録を取り揃えたオンラインショップを運営いたしました。

11月1日より「MYNATE」として実店舗をリニューアルオープンしました。コレクションをデザインした新しいオリジナルグッズ、横浜市内で活躍する作家や企業、クリエイターの商品等地域色に富んださまざまな商品が展開され、ショッピングを通して横浜の文化を楽しめるショップです。

営業開始日：令和6年11月1日(金)

営業時間：10:00～18:00

運営会社：株式会社と

オリジナルグッズ

- ・コレクション等を使用したオリジナルグッズ4種を開発・販売(11月)。
- ・美術館外観図面やリニューアルロゴを生かしたオリジナルグッズ7種を開発・販売(2月)。

オンラインショップ

<https://mynate.base.shop/>

◎カフェ「馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室」

11月1日より「馬車道十番館 横浜美術館 喫茶室」としてリニューアルオープンしました。横浜で愛される老舗飲食店の新業態展開としてオープンしたことや、企画展限定メニューのかわいらしさがSNSで注目を集め、話題となりました。

営業開始日：令和6年11月1日(金)

営業時間：10:00～18:00(ラストオーダー17:30)

運営会社：株式会社横浜十番館

おかえり、ヨコハマ展限定メニュー

- ・おかえりYOKOHAMA パフェ
- ・HANIWAソフトクリーム

期間限定メニュー

- ・ストロベリーパフェ
- ・抹茶パフェ
- ・抹茶ラテ

国際的な交流・発信

第8回横浜トリエンナーレへの取り組み

(令和6年4月1日から6月9日まで)

(re)situate Biennale Delegates Program

参加(オンライン)

日時: 4月3日(水)・4日(木)

登壇者: リウ・ティン, キャロル・インホワ・ルー,
帆足亜紀

主催: クリエティブ・オーストラリア

IBA Stage 登壇(オンライン)

日時: 5月8日(水)

登壇者: リウ・ティン, キャロル・インホワ・ルー,
帆足亜紀

主催: International Biennial Association

来館者 (肩書きは来館・視察当時)

チアゴ・ノゲイラ

モレイラサレス研究所

現代写真部門責任者・編集者

ブラジル

4月2日(火)

バンクーバー美術館 理事会 12名

カナダ

4月3日(水)

オーストラリア・カウンシル(オンライン) 12名

オーストラリア・カウンシル

オーストラリア

4月4日(木)

ライ・イーシン(ニコル)

台中美術館 館長

台湾

4月5日(金)

ツェン・イェンウエン

NAKNAK デザイン・ディレクター

台湾

4月7日(日)

ウー・イーリン

千高原艺术空间 欧米担当ディレクター

中国

4月8日(月)

マヤ・オエリ

シャウーガー美術館 代表

スイス

4月9日(火)

チャン・イーチュアン

インサイド・アウト美術館 キュレーター

中国

4月12日(金)

ルデイ・ツェン 他4名

インディペンデント・キュレーター, コレク
ター

台湾

4月14日(日)

アガット・モロヴァル

シネマテーク・フランセーズ

展示部門ディレクター

フランス

4月14日(日)

カルラ・タルエリヤ・ブランドリット

ラ・カイシャ財団 展覧会責任者

スペイン

4月14日(日)

イサベル・サルガド

ラ・カイシャ財団

展示・コレクション・ディレクター

スペイン

4月14日(日)

ヴィオラ・ヤオ

台湾アートギャラリー協会

アート・ディレクター

台湾

4月14日(日)

クラウディア・チェン

台湾アートギャラリー協会 理事長

台湾

4月14日(日)

ステイブン・リー

アジア・アート・センター

マネージング・ディレクター

台湾

4月14日(日)

クリスティ・トンブソン

ニューヨーク近代美術館 展覧会・コレク
ション部門 シニア副ディレクター

アメリカ

4月15日(月)

シル・デズモンド

デンバー美術館 チーフ・エキシビション&
コレクション・サービス・オフィサー

アメリカ

4月17日(水)

ヤナ・バルソン

フィラデルフィア美術館

展覧会企画ディレクター

アメリカ

4月19日(金)

ギラッド・コーヘン

駐日イラエル大使館 大使

イスラエル

4月24日(水)

フー・ジャーウェン

スリー・シャドーズ写真芸術センター

副ディレクター

中国

4月24日(水)

アイビー・リン

在北京香港事務所/香港美術館

文化担当/館長

中国(香港)

4月30日(火)

国際的な交流・発信

チャン・クル
香港中文大学 教授
中国(香港)
4月30日(火)

アレハンドロ・イダルゴ
ペルー大使館 二等書記官
ペルー
4月30日(火)

ファン・ファン
スター・ギャラリー
中国
5月12日(日)

ソフィアン・ムバルキ
アムステルダム市 副市長
オランダ
5月13日(月)

サビーネ・ヒムブレレ
アムステルダム市 国際担当部署責任者
オランダ
5月13日(月)

ボネ・レイン
文化事業家
オランダ
5月13日(月)

バス・ヴァルクス
オランダ大使館
オランダ
5月13日(月)

ヴィンセント・スキッパー
Studio The Future 創業者
オランダ
5月13日(月)

サム・ワトソン=ウッド
Friends with Stranger 創業者
オーストラリア
5月15日(水)

フレイヤ・チョウ
第13回台北ビエンナーレ コ・キュレーター
中国(香港)・台湾
5月28日(火)

キム・ソンジョン
アートソング・センター
アーティストティック・ディレクター
韓国
5月31日(金)

シン・ボスル
トータル現代美術館 チーフ・キュレーター
韓国
5月31日(金)

キム・ジナ
スペース・フォー・コンテンポラリーアート
プロジェクト・ディレクター
韓国
5月31日(金)

リム・スヨン
ソウル国立大学 美術・美術経営学科 講師
韓国
5月31日(金)

パトリック・フローレス
ナショナル・ギャラリー・シンガポール
チーフ・キュレーター
フィリピン大学 芸術学科 教授
フィリピン
6月2日(日)

サラ・アレン
サウス・ロンドン・ギャラリー 代表
イギリス
6月3日(月)

シー・シー
香港大学深圳キャンパス
中国(香港)
6月3日(月)

エバ・ゴンサレス=サンチョ・ボデロ
アンステイチュ・フランセ
フランス
6月3日(月)

ベアトリス・ジヨス
アンステイチュ・フランセ
フランス
6月3日(月)

ホー・シャオテ
広州美術学院美術館
中国
6月6日(木)

イン・クオック
大館(Tai Kwun) コンテンポラリー
シニア・キュレーター
中国(香港)
6月7日(金)

シン・ナタリー
トータル現代美術館
韓国
6月7日(金)

海外出張

葺屋美香

ヴェネチア(イタリア)
ヴェネチア・ビエンナーレ調査
4月14日(日)-19日(金)

松永真太郎

パリ(フランス)
アンスティチュ・フランセ主催「FOCUS」への参加
10月13日(日)-20日(日)

帆足亜紀

香港(中国・香港特別行政区)
IEO(国際展覧会オーガナイザー) 定例会議出席
4月10日(水)-13日(土)

ヴェネチア(イタリア), リヨン(フランス)
IBA(国際ビエンナーレ協会) 総会出席
10月11日(金)-14日(月)

ソウル(韓国)
企画展開催に向けた打合せおよび調査
2025年3月26日(水)-28日(金)

大澤紗蓉子

ブリスベン, シドニー(オーストラリア)
国立アトリサーチセンター主催スタディツアーへの参加/国際美術展調査(第11回アジア・パシフィック・トリエンナーレ, クイーンズランド美術館/近代美術館)
12月2日(月)-10日(火)

長谷川珠緒

タイ(バンコク)
国際美術展調査(バンコク・アート・ビエンナーレ)
2月9日(日)-13日(木)

日比野民蓉

バーゼル(スイス)
ヴェネチア(イタリア)
アート・フェア(アート・バーゼル)
国際美術展調査(ヴェネチア・ビエンナーレ)
6月11日(火)-15日(土)

ソウル(韓国)
企画展開催に向けた打合せおよび調査
7月9日(火)-12日(金)

ソウル(韓国)
企画展開催に向けた打合せおよび調査
8月5日(月)-8日(木)

ソウル(韓国)
企画展開催に向けた打合せおよび調査
9月27日(金)-10月2日(水)

ソウル(韓国)
企画展開催に向けた打合せおよび調査
1月20日(月)-23日(木)

ソウル(韓国)
企画展開催に向けた打合せおよび調査
3月26日(水)-28日(金)

森 未祈

ヴェネチア(イタリア), アムステルダム(オランダ)
国際美術展調査(ヴェネチア・ビエンナーレ), アクセシビリティ向上へ向けた取組み視察(アムステルダム市内美術館および博物館)
10月17日(木)-24日(木)

南島 興

台北(台湾)
国立アトリサーチセンター主催スタディツアーへの参加/国立及び公立美術館の視察および台湾の美術関係者との交流
10月30日(水)-11月3日(日)

飯岡 陸

ヴェネチア(イタリア)
国際美術展調査(ヴェネチア・ビエンナーレ)
11月4日(月)-9日(土)

リニューアルオープン記念事業

◎企画展

横浜美術館リニューアルオープン記念展
「おかえり、ヨコハマ」
* 展覧会事業 企画展 参照 (pp.12-13)

オンライン作品

横浜美術館リニューアルオープン記念
SIDE CORE×横浜美術館「KAIROS／カイロス」
* 展覧会事業 企画展 参照 (pp.20-21)

◎教育普及事業

お披露目ガイドツアー

日時：11月1日(金)・2日(土)・3日(日祝)
10:30~11:30 / 14:00~15:00

担当：發知言織, 岡崎智美, 森 未祈

参加費：無料

会場：ポルティコ, ギャラリー8, ギャラリー9,
美術図書室

参加人数：152人, 78人, 183人

活動再開だよ!ぐるりアトリエ見学会

日時：11月1日(金)・2日(土)・3日(日祝)
10:30~16:00

担当：桜庭瑠実, 園田泰士, 木下貴博, 瀧口 桃,
濱野絵美, 平松朋子, 藤谷まゆ子

参加費：無料

対象：どなたでも

会場：子どものアトリエ, 市民のアトリエ

参加人数：218人, 289人, 687人

子どものアトリエ

●土練機の実演「のぞいてみよう!さわってみよう!」

時間：11:30~11:45, 13:30~13:45,
15:00~15:15

会場：子どものアトリエ

●体験「青の世界!光と音のスタジオを体験しよう」

時間：10:30~16:00

会場：子どものアトリエ

市民のアトリエ

●体験「デッサンをしてみよう」

時間：10:30~16:00

会場：市民のアトリエ 平面室

●アーティストによるデモンストレーション

時間：①10:30~12:30 ②12:30~14:30

③14:00~16:00

11月1日(金)

①彫刻(立体室) 関 楓矢

②銅版画(版画室) 崔 恩知

③デッサン(平面室) 金井みゆ

11月2日(土)

①デッサン(平面室) 金井みゆ

②リトグラフ(版画室) 森田奏美

③彫刻(立体室) 関 楓矢

11月3日(日祝)

①デッサン(平面室) 金井みゆ

②彫刻(立体室) 関 楓矢

③シルクスクールの(版画室) 山崎 慧

会場：市民のアトリエ 版画室, 平面室, 立体室

●上映「プレイバック!市民のアトリエ」

時間：10:30~16:00

会場：市民のアトリエ廊下 休憩スペース

リニューアルオープン記念

トーク&ワークショップ「新宮 晋の世界」

講師：新宮 晋(風の彫刻家)

作品解説：中村尚明

日時：3月8日(土) 13:30~16:00

担当：木下貴博, 園田泰士

参加費：4,000円

対象：12歳以上

会場：子どものアトリエ, ポルティコ

参加人数：18人

◎全体デザインプロジェクトによる成果

じゆうエリア

象徴的な大空間「グランドギャラリー」を中心とする「じゆうエリア」には、無料でご覧いただける新しいギャラリーや地上階に移った美術図書室、新規オープンしたカフェやミュージアムショップ、お子さんと一緒に楽しめる「くつぬぎスポット」などが整えられ、よりひらかれた魅力いっぱいの空間となって生まれ変わりました。あらゆる人を歓迎し、どんな人の居場所にもなる、そんな横浜美術館を表現しています。



お披露目ガイドツアー



土練機の実演「のぞいてみよう!さわってみよう!」



体験「青の世界!光と音のスタジオを体験しよう」



体験「デッサンをしてみよう」



まるまるラウンジ 撮影：新津保建秀



くつぬぎスポット 撮影：新津保建秀

資料

入館者数・収支

◎入館者数

経年推移

| | | | | | |
|--------|------------|--------|------------|--------|------------|
| 平成元年度 | 1,127,386人 | 平成13年度 | 862,895人 | 平成25年度 | 1,058,689人 |
| 平成2年度 | 990,818人 | 平成14年度 | 372,395人 | 平成26年度 | 529,748人 |
| 平成3年度 | 555,276人 | 平成15年度 | 780,928人 | 平成27年度 | 533,750人 |
| 平成4年度 | 541,465人 | 平成16年度 | 331,873人 | 平成28年度 | 584,725人 |
| 平成5年度 | 1,327,380人 | 平成17年度 | 1,527,694人 | 平成29年度 | 451,228人 |
| 平成6年度 | 528,995人 | 平成18年度 | 341,657人 | 平成30年度 | 964,028人 |
| 平成7年度 | 989,037人 | 平成19年度 | 413,410人 | 令和1年度 | 816,828人 |
| 平成8年度 | 344,239人 | 平成20年度 | 770,310人 | 令和2年度 | 206,626人 |
| 平成9年度 | 942,509人 | 平成21年度 | 540,047人 | 令和3年度 | 3,514人 |
| 平成10年度 | 278,954人 | 平成22年度 | 1,408,713人 | 令和4年度 | 2,701人 |
| 平成11年度 | 792,905人 | 平成23年度 | 459,716人 | 令和5年度 | 32,168人 |
| 平成12年度 | 1,082,553人 | 平成24年度 | 662,159人 | 令和6年度 | 340,288人 |

(令和7年3月31日現在)

令和6年度事業別

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----------|--------|--------|---------|-------|----|-----|-----|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 展覧会 | 36,850 | 56,590 | 360,690 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15,811 | 16,639 | 486,580 |
| 教育普及プログラム | 5,097 | 5,750 | 2,135 | 22 | 41 | 105 | 105 | 3,904 | 654 | 13 | 1,230 | 1,367 | 20,423 |
| その他 | 127 | 342 | 0 | 4,093 | 0 | 0 | 0 | 21,457 | 42,059 | 13,166 | 33,669 | 33,623 | 148,536 |
| 合計 | 42,074 | 62,682 | 362,825 | 4,115 | 41 | 105 | 105 | 25,361 | 42,713 | 13,179 | 50,710 | 51,629 | 655,539 |

◎収支

収入

| | |
|------------|---------------|
| 指定管理料 | 880,780,564 |
| 利用料金収入 | 22,619,380 |
| 自主事業収入 | 91,289,883 |
| 横浜市による運営支援 | 40,085,000 |
| 雑入 | 61,598,939 |
| 合計 | 1,096,373,766 |

支出

| | |
|----------|---------------|
| 人件費 | 350,047,341 |
| 事務費 | 17,946,727 |
| 事業費 | 129,648,535 |
| 大規模改修事業費 | 177,295,096 |
| 管理費 | 273,671,580 |
| 公租公課 | 34,770,333 |
| 事務経費 | 93,412,991 |
| 合計 | 1,076,792,603 |

役員等・組織図

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員

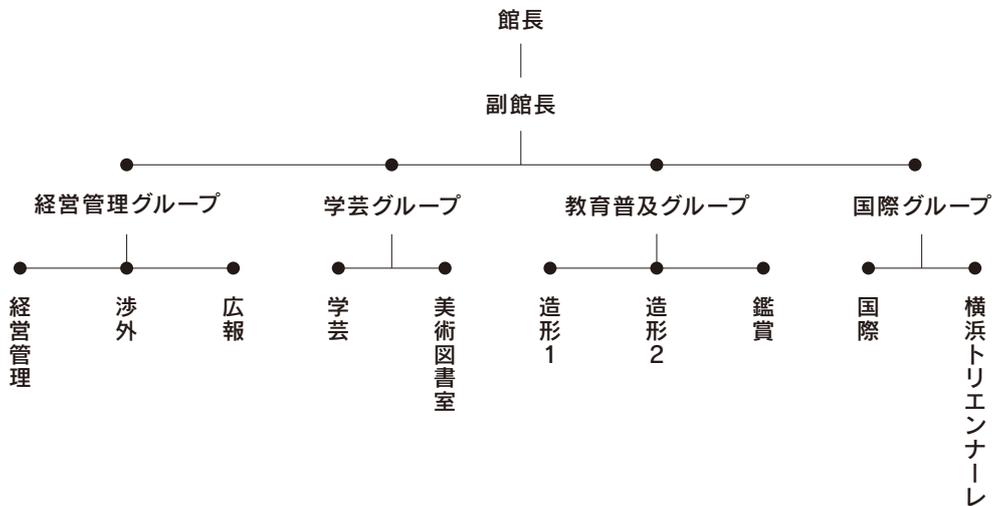
| | | |
|------|-------|--|
| 理事長 | 近藤誠一 | (代表理事) |
| 専務理事 | 恵良隆二 | (代表理事) |
| 理事 | 野村絹恵 | 事務局長(業務執行理事) |
| | 鈴木 敦 | 経営企画・ACYグループ長(業務執行理事) |
| | 杉浦正美 | 総務グループ長(業務執行理事) |
| | 蔵屋美香 | 横浜美術館 館長(業務執行理事) |
| | 伊東亜紀子 | 横浜みなとみらいホール 総支配人(業務執行理事) |
| | 小野晋司 | 横浜赤レンガ倉庫1号館 館長 兼 経営企画・ACYグループ長(業務執行理事) |
| | 近澤弘明 | 株式会社近沢レース店 代表取締役社長 |
| | 柄 博子 | 東京外国語大学 監事 |
| | 久野敦子 | 公益財団法人セゾン文化財団 常務理事 兼 事務局長 |
| 監事 | 齋藤貴司 | 税理士/ペイ・タックス税理士法人 代表社員 |
| | 只腰親和 | 横浜市立大学 名誉教授 |

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団評議員

| | |
|------|----------------------------------|
| 福岡 陽 | 学校法人フェリス女学院 学院長/フェリス女学院大学 名誉教授 |
| 足立哲郎 | 横浜市にぎわいスポーツ文化局 局長 |
| 上野 孝 | 横浜商工会議所 会頭/上野トランステック株式会社 代表取締役会長 |
| 柏崎 誠 | 元横浜市副市長 |
| 熊谷典和 | 株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長 |
| 須藤浩之 | 株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長 |
| 平元 亨 | 日本放送協会横浜放送局 局長 |

(令和7年3月31日現在)

横浜美術館組織図



職員名簿

| | | | |
|-------------------|------|------------------------------|-------|
| 館長 | | 蔵屋美香 | |
| 副館長・首席学芸員 | | 柏木智雄 | |
| 経営管理グループ | 経営管理 | 経営管理グループ長 | 山本ゆう子 |
| | | 担当グループ長 | 熊谷敬子 |
| | | チームリーダー | 普川由貴子 |
| | | チームリーダー | 福山葉子 |
| | | チームリーダー | 水谷英智 |
| | | 担当リーダー | 襟川文恵 |
| | | 担当リーダー | 小泉千恵子 |
| | | 担当リーダー | 近藤弘子 |
| | | | 宇瀬麻菜美 |
| | | | 大山真紀子 |
| | | | 川口早紀 |
| | | | 小屋有紀子 |
| | | | 高橋未早 |
| | | | 濱田美香 |
| | | | 松井美鈴 |
| | | | 村松容子 |
| | | | 山本紀子 |
| | 兼岡勇二 | | |
| | 古堅宗弘 | | |
| | 望月陽介 | | |
| | 八木晴司 | | |
| 学芸グループ | 学芸 | 学芸グループ長・首席学芸員 | 松永真太郎 |
| | | 学芸グループ長 兼 国際グループ長・首席コーディネーター | 帆足亜紀 |
| | | チームリーダー・主任学芸員 | 内山淳子 |
| | | チームリーダー・主任学芸員 | 大塚真弓 |
| | | チームリーダー・主任学芸員 | 片多祐子 |
| | | 担当リーダー・主任学芸員／主任レジストラ | 坂本恭子 |
| | | 担当リーダー・主任学芸員 | 日比野民蓉 |
| | | 主任学芸員 | 中村尚明 |
| | | 主任学芸員 | 八柳サエ |
| | | 学芸員 | 飯岡 陸 |
| | | 学芸員 | 大澤紗蓉子 |
| | | 学芸員 | 長谷川珠緒 |
| | | 学芸員 | 南島 興 |
| | | | 大沢知二 |
| | | | 土居由美 |
| | | | 石川明子 |
| | | | 長谷川菜穂 |
| 教育普及グループ | 教育普及 | 教育普及グループ長・首席コーディネーター | 庄司尚子 |
| | | チームリーダー・主任エディタ／主任学芸員 | 岡崎智美 |
| | | チームリーダー・主任エディタ | 桜庭瑠実 |
| | | チームリーダー・主任エディタ | 園田泰士 |
| | | 主任エディタ | 木下貴博 |
| | | エディタ／学芸員 | 古藤 陽 |
| | | エディタ | 瀧口 桃 |
| | | エディタ | 濱野絵美 |
| | | エディタ | 平松朋子 |
| | | エディタ | 藤谷まゆ子 |
| | | エディタ | 發知言織 |
| | | エディタ／学芸員 | 森 未祈 |
| | | 国際グループ | 国際 |
| 横浜トリエンナーレ チームリーダー | 里見有祐 | | |
| 横浜トリエンナーレ 担当リーダー | 飯阪直子 | | |

54名(令和7年3月31日現在)

*同職名の場合は、五十音順

条例・施行規則

横浜美術館条例

昭和63年9月24日
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。
横浜美術館条例

(設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

(事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール
(3) 駐車場
(平23条例23・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
(5) その他市長が定める業務
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成することができるものとして指定する。
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

(指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。
(平17条例69・追加)

(管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。
(平23条例48・追加)

(利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。
(3) 美術館の管理上支障があるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めるとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

(美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。
(2) 美術館の管理上支障があるとき。
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めるとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

(利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

条例・施行規則

圏内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条繰下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条繰下・一部改正)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条繰下・一部改正、平23条例48・旧第10条繰下)

(利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条繰下・一部改正、平23条例48・旧第11条繰下)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条繰下・一部改正、平23条例48・旧第12条繰下・一部改正)

(入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条繰下・一部改正、平23条例48・旧第13条繰下)

(横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条繰下、平23条例48・旧第14条繰下)

附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあっては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

附則(平成28年2月条例第4号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・平28条例4・一部改正)

| 区分 | 単位 | 利用料金 | |
|---------|---------|------|-----------|
| | | 個人 | 団体(20人以上) |
| 一般 | | 500円 | 400円 |
| 大学生・高校生 | 1人1回につき | 300円 | 240円 |
| 中学生・小学生 | | 100円 | 80円 |

(備考)

- 1 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、義務教育学校、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学校(義務教育学校の前期課程、特別支援学校の小学部及びこれらに準ずるものを含む。)に就学するまでの者は、無料とする。

別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

| 区分 | 単位 | 利用料金 |
|--------------|-------|------|
| ピアノ学習システムブース | 1回につき | 100円 |
| 名画鑑賞システムブース | | 100円 |

別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

| 区分 | 単位 | 利用料金 | |
|----------|-----------------|----------|-------------|
| | | 平日 | 日曜日、土曜日及び休日 |
| レクチャーホール | 1日につき | 20,000円 | 24,000円 |
| | | 24,000円 | |
| 附帯設備 | 1式、1台又は1枚、1日につき | 150,000円 | |

(備考)

- 1 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 2 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- 3 レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

| 区分 | 単位 | 利用料金 |
|--------|---|------|
| 大型車 | 1台、30分につき | 500円 |
| その他のもの | 1台、1時間30分まで | 500円 |
| | 利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。 | |

条例・施行規則

横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日
規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。
横浜美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
(2) レクチャーホール 午前10時から午後9時まで
(3) 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあっては、午前10時から午後6時まで)
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
(平23規則22・一部改正)

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
(2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
(平14規則32・一部改正)

(指定申請書の提出等)

第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
(1) 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
(2) 法人にあっては、当該法人の登記事項証明書
(3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
(4) 美術館の管理に関する業務の収支予算書
(5) その他市長が必要と認める書類
(平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

(施設の利用許可申請等)

第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条線下・一部改正)

(特別利用の許可申請)

第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条線下)

(観覧券の発行)

第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。
2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条線下・一部改正)

(美術情報機器の利用)

第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(利用料金の後納)

第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。
(平10規則42・旧第11条線下・一部改正、平17規則89・旧第10条線下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

(利用料金の減免)

第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
(1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額
(2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
(3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
- (5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額
- （平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条線上一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条線下・一部改正、平19規則47・平24規則16・平28規則23・一部改正）

（利用料金の返還）

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額
- (2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
- (3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
- （平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条線下・一部改正、平24規則16・一部改正）

（委任）

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、にぎわいスポーツ文化局長が定める。

（平10規則42・旧第14条線上一部改正、平17規則89・旧第13条線下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・令5規則21・一部改正）

附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則（平成4年9月規則第88号）

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則（平成6年3月規則第41号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の（中略）規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則（平成7年3月規則第45号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則（平成8年3月規則第20号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則（平成10年3月規則第42号）

（施行期日）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の

日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則（平成11年3月規則第28号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月規則第36号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年3月規則第32号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月規則第31号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年6月規則第89号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年3月規則第84号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月規則第47号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月規則第29号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成23年3月規則第22号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

附則（平成24年3月規則第16号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附則（平成28年3月規則第23号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附則（令和5年3月規則第21号）抄

（施行期日）

1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。

（経過措置）

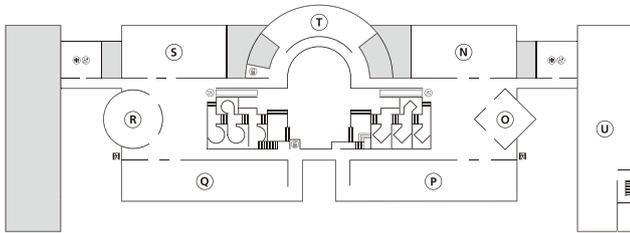
3 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

第1号様式（第4条第1項）

（平17規則89・追加、平19規則47・一部改正）

※様式省略

3F



- N ギャラリー 1
- O ギャラリー 2
- P ギャラリー 3
- Q ギャラリー 4
- R ギャラリー 5
- S ギャラリー 6
- T ギャラリー 7
- U 市民のアトリエ

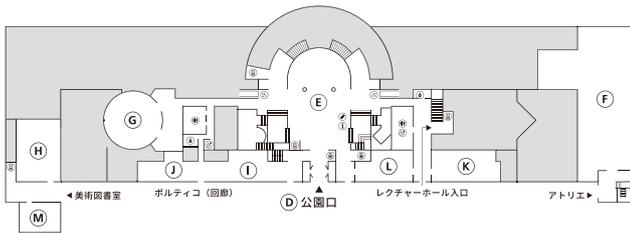
建築概要

敷地面積 19,803m²
 建築面積 9,621m²
 延床面積 27,014m²
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

LF (2F) ロビーフロア



- D 公園口
- E グランドギャラリー
- F 子どものアトリエ
- G 円形フォーラム
- H 美術図書室
- I ミュージアムショップ
- J カフェ
- K プロジェクトスペース
- L ギャラリー 8
- M ギャラリー 9

開館時間

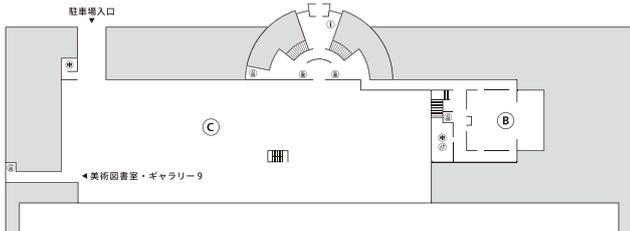
展覧会: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 美術図書室:10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)
 駐車場: 10:00~21:00/収容台数:169台
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

観覧料

| | |
|-------------|-------------|
| コレクション展: 一般 | 500 (400) 円 |
| 大学生 | 300 (240) 円 |
| 中学・高校生 | 100 (80) 円 |
| 小学生以下無料 | |
| 企画展: | 展覧会ごとに異なる |

()内は有料20名以上の団体料金(要事前申込)

1F



- A 西口
- B レクチャーホール
- C 駐車場

交通案内

電車:

みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい(グランドガレリア)経由、徒歩3分。または(マークイズ連絡口)(10:00~)徒歩5分。
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。

車:

桜木町駅前から日本丸方面へ入る。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通って美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出入口」も利用できます)。

令和6年度 横浜美術館年報

令和8年3月31日発行

編集・発行：横浜美術館
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317
<https://yokohama.art.museum>

デザイン：峯石景子

© Yokohama Museum of Art 2025

